

2024年度 事業報告書

社会福祉法人 敬愛会

社会福祉法人敬愛会 沿革

年 月 日		事 項
1982 年	11月30日	社会福祉法人「敬愛会」設立準備委員会設置
1983 年	10月26日	特別養護老人ホーム志和荘新築工事入札
1984 年	3月 7日	厚生省から社会福祉法人敬愛会認可通知書の受理
	3月 8日	社会福祉法人敬愛会法人設立登記
	3月30日	特別養護老人ホーム志和荘設置認可(入所定員50名)
	4月 2日	特別養護老人ホーム志和荘開所ならびに辞令交付式
	5月 8日	特別養護老人ホーム志和荘落成式
	11月 1日	旧都南村社会福祉協議会との委託契約により在宅寝たきり老人入浴サービス事業実施
	12月24日	矢巾町との委託契約により 寝たきり老人短期保護事業実施
1985 年	4月 1日	紫波町との委託契約により 寝たきり老人短期保護事業実施
1987 年	1月20日	在宅老人短期保護事業専用居室4床整備
1988 年	3月 2日	特別養護老人ホーム志和荘に多目的ホールとしてサンルームを増設
	6月 1日	矢巾町との委託契約により、在宅老人給食サービス事業を実施
1991 年	1月16日	特別養護老人ホーム志和荘に隣接してデイサービスセンターを設置 矢巾町との委託契約によりデイサービス事業を実施
1992 年	2月 1日	屋内消火栓整備事業完了
	3月 8日	敬愛会定款に基づく理事定数を7名から11名に改正
	12月25日	浄化槽改修整備事業完了
1993 年	3月19日	在宅介護支援センター施設整備事業完了 矢巾町との委託契約により在宅介護支援センター事業を実施
	3月31日	志和荘とデイサービスとの接続廊下整備事業完了
	3月31日	短期入所専用居室8床増床整備事業完了(個室2・二人部屋1・四人部屋1)
1997 年	9月22日	特別養護老人ホーム志和荘特殊浴槽改修整備事業完了
1998 年	11月30日	駐車場及び搬入搬出道路整備事業完了
2000 年	4月 1日	介護保険法の実施により ○指定介護老人福祉施設「志和荘」 事業所番号 0372200162 ○指定短期入所生活介護事業 事業所番号 0372200097 ○指定通所介護事業(デイサービス) 事業所番号 0372200097 ○敬愛会指定居宅介護支援事業所 事業所番号 0372200063
	10月27日	ショートステイ床の特養への転換による財産処分 ○老人ホーム志和荘入所定員を50名から52名に変更 ○短期入所専用居室を12床から10床に変更
2001 年	5月30日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築予定用地に係る試掘調査依頼(岩手県・矢巾町教育委員会)
	6月21日	試掘調査依頼に対する調査結果通知受理(埋蔵文化財が発見されなかったとの報告)
	7月10日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築予定用地に係る追加試掘調査依頼(岩手県・矢巾町教育委員会)
	7月25日	志和荘移転新築用地取得の条件付売買契約締結(農振法) 所有者:藤原剛一 取得面積:6,492.08㎡

年 月 日		事 項
2001 年	8月 8日	7月10日付での試掘調査依頼に対する調査結果通知の受理(調査結果埋蔵文化財が発見されなかったとの報告)
	8月 9日	志和荘移転新築用地取得の条件付売買契約締結(農振法) 所有者:中野廣一 取得面積:3,650.0㎡
	8月20日	条件付にて取得した用地に係る農振法での農用地区域除外申請(申請面積:9,764.0㎡)
2002 年	1月11日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築整備事業に係る老人福祉施設整備費協議書の申請(平成14年度事業として)
	1月28日	国土利用計画法に基づく取得用地の届出(届出面積:10,142.08㎡)
	4月11日	志和荘移転新築用地取得の追加購入売買契約締結 所有者:中野廣一 取得面積:4,379.0㎡
	4月16日	国土利用計画法に基づく追加取得用地の届出 (届出面積:4,379.0㎡ 総取得面積:14,521.08㎡)
	5月31日	志和荘移転新築整備事業に伴う施設整備費補助金の内示受理 (補助額 426,213 千円 内訳:国 270,666 千円・県 155,547 千円)
	6月 7日	農振法第5条の規定による農地転用許可申請書の提出
	7月16日	農振法第5条の規定による農地転用許可済証の受理
	9月11日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築整備事業の入札 入所定員を35名増床「完全個室・ユニットケア導入」
	9月17日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築整備事業請負業者との契約締結(東野建設工業㈱・大平建設㈱特定共同企業体)
	9月18日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築整備事業の着工
	10月29日	志和荘移転新築整備事業に関し2か年事業としての申請
2003 年	1月10日	志和荘移転新築整備事業に伴う15年度設備整備費協議書申請(申請額 14,347,000)
	3月10日	平成14年度分の施設整備費補助金交付契約書の締結 (補助額 216,516,204 円 内訳:国 137,498,000 円・県 79,018,204 円)
	3月10日	平成14年度分の施設整備費補助金交付契約書の締結 (補助額 216,516,204 円 内訳:国 137,498,000 円・県 79,018,204 円)
	5月12日	志和荘移転新築整備事業に伴う平成15年度分施設整備費補助金交付申請 (補助金総額 209,696,796円)
	5月28日	平成15年度分の施設整備費補助金交付契約書の締結 (補助額 209,696,796 円 内訳:国 133,168,000 円・県 76,528,796 円)
	7月 1日	新型特別養護老人ホーム志和荘完成に伴う建築確認検査
	7月 4日	平成15年度設備整備費補助金交付契約書の締結 (補助額 14,347,000 円 内訳:国 10,064,000 円・県 4,283,000 円)
	7月 4日	志和荘建築確認検査済証の受理
	7月 7日	独立行政法人福祉医療機構(旧社会福祉・医療事業団)からの施設整備費貸付契約書の締結(借入額 500,000,000 円)
	7月10日	「完全個室・ユニットケア」による特別養護老人ホーム志和荘の落成(落成・祝賀会を志和荘地域交流センターにて行う)
	7月22日	旧志和荘から新志和荘へ移転する
2006 年	4月 1日	矢巾町地域包括支援センター開設(さわかハウス)
	11月 6日	旧志和荘跡利用として地域密着型介護老人福祉施設を整備事業開始

年 月 日		事 項
2007 年	3月26日	地域密着型介護老人福祉施設悠和荘の整備事業完了
	4月19日	介護老人福祉施設悠和荘落成式
	5月 1日	地域密着型介護老人福祉施設悠和荘の事業指定を受ける (事業指定番号0392200028)
	5月 7日	地域密着型介護老人福祉施設悠和荘事業開所(入居定員 21名)
	8月23日	悠和荘短期入所生活介護事業の事業指定を受ける (事業指定番号0372200659) 指定有効終了年月日 平成25年8月22日
2008 年	4月 1日	指定介護事業所として下記事業所の更新指定を受ける 特別養護老人ホーム志和荘 (有効期限 平成 26 年 3 月 31 日) 志和荘短期入所生活介護事業 (有効期限 平成 26 年 3 月 31 日) 敬愛会通所介護事業 (有効期限 平成 26 年 3 月 31 日) 敬愛会指定居宅介護支援事業所 (有効期限 平成 26 年 3 月 31 日)
	10月28日	悠和荘にて福祉車両整備(財団法人 JKA からの補助)
2009 年	8月20日	新規介護事業として下記の事業の指定を受ける(有効期限 平成 27 年8月 19 日) ・ 志和荘介護予防短期入所生活介護事業 ・ 悠和荘介護予防短期入所生活介護事業
2010 年	4月28日	志和荘隣接用地の追加購入売買契約締結 所有者:中野廣一 取得面積:1,340.78㎡
	12月14日	志和荘に於いて福祉サービス第三者評価を受ける (訪問調査、平成23年2月8日付で第三者評価結果報告を受ける)
2011 年	12月19日	帰厚堂・敬愛会合同での施設整備 医療福祉多機能ビル「ケアセンター南昌」の契約締結(敬愛会に於ける施設整備は、保育所と包括支援センターの整備)
2013 年	1月17日	帰厚堂・敬愛会合同での施設整備 医療福祉多機能ビル「ケアセンター南昌」の落成
	3月11日	保育園開放・体験入園(3月28日まで)
	3月18日	こずかた保育園認可申請現場検査(岩手県・矢巾町)
	4月 1日	社会福祉法人敬愛会こずかた保育園開所
	4月 1日	矢巾町地域包括支援センター移転開設(ケアセンター南昌)
	8月 1日	志和荘短期入所事業10床を廃止、全て長期入所に切替え入所定員97名でスタートする。
2016 年	4月 1日	敬愛会老人デイサービスセンターが地域密着型小規模通所介護としてスタートする
	1月10日	やはば生活支援ネットワーク事業の参画協定書に調印、全8法人で事業がスタートする。
2017 年	3月	志和荘及び悠和荘へ防犯カメラ並びに110番通報装置を設置する。
	4月 1日	改正社会福祉法に基づき評議員定数を7名に変更しスタートする。
	12月 1日	矢巾町からデイサービスセンター建物の無償譲渡を受ける。
2018 年	7月31日	デイサービスセンターの業務を終了する。
	8月 3日	悠和荘増設事業で県補助金分の内示(補助額 39,128 千円)を受ける。
	8月14日	悠和荘増設事業の事前着手が承認される。
	12月 5日	悠和荘増設事業の補助金交付申請(県・町合計 50,560 千円)を提出する。
2019 年	1月16日	悠和荘増設事業補助金交付契約を締結する。
	2月20日	悠和荘増設工事完成検査を行う。
	2月22日	矢巾町、岩手県による悠和荘増設事業費補助金の完了確認を受ける。

年 月 日		事 項
2019 年	3月1日	悠和荘の新ユニット(5丁目)の運用を開始する。
	4月1日	こずかた保育園から幼保連携型認定こども園こずかたこども園に移行。
2020 年	3月3日	事業継続計画(BCP)新型コロナウイルス対応編策定
	4月1日	敬愛会指定居宅介護支援事業所から指定居宅介護支援事業所こずかたケアプランセンターに移行
	4月24日	志和荘で入居者のご家族とを結ぶオンライン面会を開始
	5月13日	悠和荘で入居者のご家族とを結ぶオンライン面会を開始
	10月10日	矢巾町えんじょいセンター開所
2021 年	2月16日	2020 年度岩手県介護ロボット等導入支援事業費補助金交付決定(志和荘)
	3月8日	2020 年度岩手県介護ロボット等導入支援事業完了予定期日変更承認
	11月30日	2020 年度岩手県介護ロボット等導入支援事業完了
2022 年	3月16日	2021 年度岩手県介護ロボット等導入支援事業費補助金交付決定 (志和荘・悠和荘介護記録ソフト導入、悠和荘 Wi-Fi 環境整備)
	3月31日	2021 年度岩手県介護ロボット等導入支援事業完了
	5月30日	電話交換機、ナースコール設備更新工事完成

【 社会福祉法人敬愛会事業の内容 】

総 括

社会福祉法人敬愛会は、1984年に特別養護老人ホーム志和荘を開設し2025年で41年を迎える。以来、社会は大きく変わり、特に少子高齢化の進展に伴い、出生数が減少し人口減少が進む一方、高齢者数は今後とも増加する地域と縮小する地域が混在している。確実に言えることは、少子化により働き手が減少し人材確保が困難になり人件費の引き上げが懸念される。

加えて、専門家は新型コロナウイルスがこの地球からなくなる可能性は低いと見ており、引き続き感染対策経費や物価高騰等により施設経営が厳しくなり、法人経営も更にひっ迫していくものと想定されている。

特別養護老人ホーム志和荘(広域型)と介護老人福祉施設悠和荘(地域密着型)は、ユニットケアシステムを導入し、余すことなくシステムの利点を生かした施設経営を行っている。併せて、特筆すべき点は、南昌の里にある両施設とも医療協力病院である医療法人社団帰厚堂南昌病院と敬愛会介護施設間との連携が挙げられ、他法人にない医療と介護の結びつきを強めてきた。

本年3月末の長期利用を希望する施設待機者は、志和荘は対前年同期比12人減の47人、悠和荘は同15人減の25人となり、待機者の減少が続いている。更には、志和荘及び悠和荘の待機者の多くは医療行為を必要とする者や、現行利用施設での継続を望む者もあり、入居調整に苦慮している。併せて最大の経営リスクとなっている悠和荘の短期入所サービスの利用率が低いことから、安定的な利用者の確保に努めることが健全経営に繋がるものと言える。

介護施設の待機者の推移

	特別養護老人ホーム志和荘 (定員 長期 97 人)	介護老人福祉施設悠和荘 (定員 長期 29 人、短期 8 人)	備 考
2023 年 3 月 31 日現在	74 人(対前年度 29 人減)	45 人(対前年度 12 人減)	
2024 年 3 月 31 日現在	59 人(対前年度 15 人減)	40 人(対前年度 5 人減)	
2025 年 3 月 31 日現在	47 人(対前年度 12 人減)	25 人(対前年度 15 人減)	

次に、子育て支援施設である「こずかたこども園」は、教育と保育を一体的に進める時代の要請とニーズに応えるため、2019 年 4 月から幼保連携型認定こども園「こずかたこども園」に移行を図り、新制度 6 年目として園児が心身ともに豊かに育ち合うよう努めている。一方、100 日咳やアデノウイルスなどの咳系の感染症も多く、その対策を強化している。なお、本町においても少子化の影響は大きく、利用児童数は下表のとおり年々減少の一途を辿っている。

こずかたこども園の年度別園児利用状況

		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	小 計
2023 年 4 月 1 日現在	1 号 認 定 (定員 6 人)				1	1	3	5
	2・3 号 認 定 (定員 100 人)	3	18	17	14	19	18	89
	在籍総児童数 (定員 106 人)	3	18	17	15	20	21	94
2024 年 4 月 1 日現在	1 号 認 定				2	1	2	5
	2・3 号 認 定	1	17	17	19	15	17	86
	在籍総児童数	1	17	17	21	16	19	91
2025 年 4 月 1 日現在	1 号 認 定				2	2	3	7

	2・3号認定	1	12	17	18	18	15	81
	在籍総児童数	1	12	17	20	20	18	88

なお、2020年1月15日に我が国初の新型コロナウイルス感染者を初確認してから5年半が経過し、その感染対策に専心事に当たっている。とりわけ介護施設利用者である高齢者は、とりわけ基礎疾患があり免疫力が低く、加えて大多数が認知症利用者で完璧な感染対策には難しいものがある。一方、面会については、現在対面面会により対応を行なっているが、感染が確認された場合は中止している。

1 社会福祉法人敬愛会

- (1) 所在地:岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第1地割100番
- (2) 設立年月日:1984年3月8日
- (3) 法人代表者:理事長 木村 宗孝
- (4) 役員等構成: 理事(理事長含む) 6名・監事 2名・評議員 7名・評議員選任・解任委員 5名
苦情解決委員 第三者委員 4名・事業者委員1名、敬愛会入所判定委員 4名
- (5) 法人所有敷地:25,609.48㎡

2 特別養護老人ホーム志和荘

- (1) 所在地:岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第1地割100番地
- (2) 開設年月日:1984年4月2日に開設し、2003年7月10日に移転新築(現在に至る)
- (3) 入所定員:志和荘 97名
- (4) 建物の面積:4,864.82㎡
- (5) 職員配置状況(2025年4月1日現在) 職員 74人、嘱託医師 2人

職名	人数	職名	人数	職名	人数	職名	人数
統括施設長	1	介護福祉士	51	生活相談員	1	介護補助	2
施設長	1	介護士	3	看護師	5		
事務	4	理学療法士	1	歯科衛生士	1		
介護支援専門員	2	管理栄養士	2	嘱託医師	2		

3 地域密着型介護老人福祉施設悠和荘

- (1) 所在地:岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第1地割2番地312
- (2) 開設年月日:2007年5月7日
- (3) 入所定員:悠和荘 29名(2019年3月1日 8床増床)・短期入所生活介護(ショートステイ) 8名
- (4) 建物の面積:2,401.91㎡
- (5) 職員配置状況(2025年4月1日現在) 職員 28人、嘱託医師 1人

職名	人数	職名	人数	職名	人数	職名	人数
施設長	1	介護福祉士	19	生活相談員	1		
事務	1	マッサージ師	1	看護師	2		
介護士	2	介護支援専門員	1	嘱託医師	1		

4 こずかたケアプランセンター

- (1) 所在地:岩手県紫波郡矢巾町大字又兵エ新田第5地割335番地
医療福祉多機能ビル「ケアセンター南昌」1階

(2) 開設年月日:2020年4月1日

(3) 職員配置状況(2025年4月1日現在) 職員 4 人

職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数
管理者兼主任介護支援専門員	1	介護支援専門員	3		

5 矢巾町地域包括支援センター

(1) 所 在 地:岩手県紫波郡矢巾町大字又兵エ新田第5地割335番地

医療福祉多機能ビル「ケアセンター南昌」1階

(2) 開設年月日:2006年4月1日

(3) 職員配置状況(2025年4月1日現在) 職員 8 人

職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数
所長兼主任介護支援専門員	1	主任兼えんじょいセンター管理者	1	保健師	1
社会福祉士	1	主任介護支援専門員	1	認知症地域支援推進員	2
事務	1				

6 幼保連携型認定こども園こずかたこども園

(1) 所 在 地:岩手県紫波郡矢巾町大字又兵エ新田第5地割335番地

医療福祉多機能ビル「ケアセンター南昌」2階

(2) 開設年月日:2013年4月1日

(3) 職員配置状況(2025年4月1日現在) 職員 25 人、学校医 1 人、学校歯科医 1 人、薬剤師 1 人

職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数
園 長	1	副 園 長	1	主幹保育教諭	2	保育教諭	15
パート保育教諭	2	保育補助	2	看 護 師	1	事 務	1
学校医	1	学校歯科医	1	薬剤師	1		

7 敬愛会職員台帳 (2025 年 4 月 1 日現在)

職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数
所属長級	6	主幹保育教諭	2	管理栄養士	2	社会福祉士	1
事務・会計	7	保育教諭	19	介護職員	77	認知症地域支援推進員	2
看護師・保健師	9	理学療法士	1	介護支援専門員	8		
副園長	1	歯科衛生士	1	生活相談員	2	マッサージ師	1

説明 1 職員合計 139 人。うち正規職員 94 人(67.6%)、非正規職員 45 人(32.4%)。

説明 2 上記職員の外に嘱託医師(歯科医を含む)5 人、薬剤師 1 人。

説明 3 障害者雇用職員 3 人、派遣職員 0 人。

説明 4 2025 年 4 月 1 日現在の産休・育休職員 2 人。

8 2024 年度社会福祉法人敬愛会理事会の開催

○ 2024 年5月29 日第1回理事会開催

議案 議案第1号 特別養護老人ホーム志和荘運営規定及び介護老人福祉施設悠和荘運営規定の一部改正について

議案第2号 社会福祉法人敬愛会諸規定の一部改正について

議案第3号 2023 年度事業報告について
議案第4号 2023 年度決算の承認について
議案第5号 社会福祉法人敬愛会定時評議員会の招集について

- 2024 年 12 月 16 日 第2回理事会開催
議題 議案第1号 2024 年度資金収支補正予算について
議案第2号 社会福祉法人敬愛会評議員選任・解任委員会委員の改選について
- 2025 年 3 月 12 日 第3回理事会開催
議題 議案第1号 諸規定の一部改正について
 - (1) 介護老人福祉施設悠和荘運営規程の一部改正について(短期及び予防も含む)
 - (2) 社会福祉法人敬愛会組織規程の一部改正について
 - (3) 社会福祉法人敬愛会経理規程の経理規程の一部改正について議案第2号 社会福祉法人敬愛会定款の一部改正について
議案第3号 2024 年度社会福祉法人敬愛会資金収支予算の補正について
議案第4号 2025 年度社会福祉法人敬愛会事業計画について
議案第5号 2025 年度社会福祉法人敬愛会資金収支予算について
議案第6号 社会福祉法人敬愛会指導監査結果の指摘事項に関する改善内容について
議案第7号 役員等賠償責任保険契約について
議案第8号 社会福祉法人敬愛会理事候補者の推薦について
議案第9号 社会福祉法人敬愛会監事候補者の推薦について
議案第10号 社会福祉法人敬愛会所属長級の人事について

9 2024 年度社会福祉法人敬愛会定時評議員会の開催

- 2024 年6月24 日定時評議員会開催
議題 議案第1号 2023 年度事業報告について
議案第2号 2023 年度決算の承認について
議案第3号 社会福祉法人敬愛会理事の選任について

10 社会福祉法人敬愛会評議員選任解任委員会の開催

- (開催なし)

11 2024 年度社会福祉法人敬愛会監事監査の実施

- 2024 年 5 月 20 日:2024 年度第 4・四半期出納調査・決算監査
- 2024 年 8 月 23 日:2024 年度第 1・四半期出納調査
- 2024 年 11 月 15 日:2024 年度第 2・四半期出納調査
- 2025 年 2 月 20 日:2024 年度第 3・四半期出納調査

12 2024 年度社会福祉法人敬愛会入居判定委員会

- 2024 年 4 月 23 日:2024 年度第 1 回志和荘・悠和荘入居判定委員会
- 2024 年 7 月 31 日:2024 年度第 2 回志和荘・悠和荘入居判定委員会
- 2024 年 11 月 21 日:2024 年度第 3 回志和荘・悠和荘入居判定委員会
- 2025 年 2 月 19 日:2024 年度第 4 回志和荘・悠和荘入居判定委員会

13 2024 年度社会福祉法人敬愛会苦情解決委員会・虐待防止委員会

- 2024 年 6 月 26 日:2024 年度第 1 回苦情解決委員会・虐待防止委員会
- 2024 年 12 月 9 日:2024 年度第 2 回苦情解決委員会・虐待防止委員会

14 社会福祉法人敬愛会地域公益活動への取り組み

社会福祉法人敬愛会として地域公益活動を積極的に行うなど、法人と地域住民との密着度の高さを誇りにしている。これは「地域とともに生き、地域とともに歩む」という法人理念が根拠であるとする。これが敬愛会の強みであり、職員一同更なる充実を目指している。

(1) 地域応援出前講座の実施(2010 年度開始)

年度	法人名	実 施 状 況			備 考
		回 数	総参加者数	平均参加者数	
2010年度	敬愛会	9	264	29.3	1年目
	帰厚堂	2	60	30.0	
	小 計	11	324	29.5	
2011年度	敬愛会	7	124	17.7	2年目
	帰厚堂	2	52	26.0	
	小 計	9	176	19.6	
2012年度	敬愛会	7	155	22.1	3年目
	帰厚堂	3	80	26.7	
	小 計	10	235	23.5	
2013年度	敬愛会	16	413	25.8	4年目
	帰厚堂	2	29	14.5	
	小 計	18	442	24.6	
2014年度	敬愛会	18	498	27.7	5年目
	帰厚堂	3	92	30.7	
	小 計	21	590	28.1	
2015年度	敬愛会	22	506	23.0	6年目
	帰厚堂	5	160	32.0	
	小 計	27	666	24.7	
2016年度	敬愛会	15	670	44.7	7年目
	帰厚堂	8	236	29.5	
	小 計	23	906	39.4	
2017年度	敬愛会	13	442	34.0	8年目
	帰厚堂	4	195	48.8	
	小 計	17	637	37.5	
2018年度	敬愛会	2	50	25.0	9年目
	帰厚堂	6	122	20.3	
	小 計	8	172	21.5	
2019年度	敬愛会	17	894	52.6	10年目
	帰厚堂	12	411	34.8	
	小 計	29	1,305	45.0	
2020年度	敬愛会	活動実績無し			11年目
	帰厚堂				
	小 計				
2021年度	敬愛会	活動実績無し			12年目
	帰厚堂				
	小 計				
2022年度	敬愛会	7	121	17.0	13 年目
	帰厚堂	1	15	15.0	
	小 計	8	136	17.0	

2023年度	敬愛会	10	152	15.2	14 年目
	帰厚堂	7	120	17.1	
	小 計	17	272	16.0	
2024年度	敬愛会	9	202	22.4	15 年目累計 232 回
	帰厚堂	24	426	17.8	
	小 計	33	628	19.0	

社会福祉法人敬愛会 152 講座、参加者数 4,491 人
医療法人社団帰厚堂 80 講座、参加者数 2,018 人
合 計 2024 年度末(累計) 232 講座、参加者数 6,509 人(1会場平均参加者 28.1 人)

(2) 劇団「おたすけ」公演

2003 年から継続していた劇団「おたすけ公演」は、出演職員の高齢化並びに新型コロナウイルス感染対策により次第に公演依頼団体の減少が続き、22 年間の活動に終止符を打ち、2024 年に終了しました。

- ① 実施法人名 【医療法人社団帰厚堂、社会福祉法人敬愛会、社会福祉法人睦喜会】
- ② 2013 年 7 月 13 日 100 回記念公演 (場所 CC南昌)、矢巾町長感謝状
- ③ 2024 年度末(累計) 131 回公演 参加者数 8,948 人(1 会場平均参加者 68.3 人)

(3) 社会福祉法人等による生活困難者に対する利用者負担額軽減 2000 年度開始

- ① 対 象 者 介護保険サービスを利用する低所得者(住民税非課税世帯)のうち、特に生活が困窮してる方
- ② 軽減対象 介護サービス費、食費、居住費の軽減。

年 度	志和荘軽減額	悠和荘軽減額	合 計	特 記 事 項
2015年度	1,714,757 円	404,362 円	2,119,119 円	
2016年度	1,825,414 円	419,840 円	2,245,254 円	
2017年度	1,619,552 円	82,000 円	1,701,552 円	
2018年度	1,895,474 円	0 円	1,895,474 円	
2019年度	1,372,524 円	19,103 円	1,391,627 円	対象者 志和荘6、悠和荘 1、計 79 件
2020年度	2,189,405 円	0 円	2,189,405 円	対象者 志和荘 12、悠和荘 0、計 116 件
2021年度	2,941,071 円	3,280 円	2,944,351 円	対象者 志和荘 15、悠和荘 1、計 160 件
2022年度	2,032,809 円	3,360 円	2,036,169 円	対象者 志和荘 13、悠和荘 1、計 109 件
2023年度	1,438,850 円	5,740 円	1,444,590 円	対象者 志和荘 8、悠和荘 1、計 86 件
2024年度	1,132,960 円	9,680 円	1,142,640 円	対象者 志和荘 6、悠和荘 1、計 55 件

(4) 保護観察者の社会復帰支援事業に伴う社会貢献活動実施施設として登録 (2013 年度開始)

- ① 活動内容
 - ア 施設外環境美化活動
 - イ 施設内清掃及び車イス清掃
- ② 対象者なし

(5) 矢巾町と複数法人の連携による災害時要援護者への支援協定の締結 (2014 年度開始)

- ① 目的 矢巾町大規模災害発生時に、町内の援護を要する者の支援活動を円滑にする
- ② 対象者なし

(6) 盛岡広域シルバーケア SOS ネットワーク事業 (2015 年度開始)

- ① 目的 認知症高齢者徘徊保護対策事業として、矢巾町内で発見した認知症の身元不明者に対し、介護施設(短期入所施設)で身元判明までの期間に措置入所を行う。
- ② 対象者なし

(7) 災害支援

① 中央ブロック高齢者福祉協議会 災害時支援ネットワーク協定（2014年7月開始）

会員施設に大規模被害が発生した場合、被災していない施設が被災施設利用者の受入れ並びに職員を派遣するもの。以後、岩手県高齢者福祉協議会、東北ブロック老人福祉施設協議会員施設まで拡大している。

② 岩手県災害派遣福祉チーム（DWA T、2013年9月開始）

災害救助法が適用される大規模な災害が発生した場合、被災市町村からの要請や被害状況を勘案し、チームを災害派遣する必要があると県が認めた場合に職員を派遣する。

敬愛会登録職員 介護支援専門員 1、介護福祉士 1、保育士 1

(8) 無料シャトルバスの運行

① 運行経路 ケアセンター南昌 ⇄ 志和荘 ⇄ 悠和荘 ⇄ 南昌病院・敬愛荘

② 運行回数 1日5往復

③ 運行日 月曜日から土曜日と祝祭日

④ 運行開始日 2016年2月1日

(9) やはば生活支援ネットワーク事業

① 矢巾町を区域とする公益的な取組を共同実施する「やはば生活支援ネットワーク事業」による活動を 2017年4月1日から無料で実施

② 事業内容

ア 日常生活支援事業 買い物支援サービス

(単位:人)

年 度	敬愛会	新生会	爽生会	睦喜会	親和会	朗親会	帰厚堂	いちご会	矢巾町社協	合 計
2017年	3	3	2	3	2		2			15(114件/年)
2018年	3	3	2	3	2	1	2			16(160件/年)
2019年	3	3	4	3	2	2	2			19(156件/年)
2020年	5	3	4	3	2	3	2			22(173件/年)
2021年	5	3	3	3	2	4	2	1		23(140件/年)
2022年	3	3	1	3	2	4	2	3		21(103件/年)
2023年	1	3	1	3	1	4	1	2		16(141件/年)
2024年	1	3	2	3	1	4	1	2	1	18(136件/年)

イ 生活困窮者生活支援事業

経済的な課題を抱え、生活維持が困難な方を対象に生活支援事業を実施した。

年度	支援件数	支援総額	対象者の主な内容、経緯等
2017年度	8件	224,341 円	発達障害・無職 1、低所得・不登校・家庭内別居 1、無職・生保申請中 2、低所得・不登校・うつ・パニック・PTSD1・無職・水道停止・不登校・疾病 1、疾病・ライフライン無し・生保申請中 1、無職・滞納 1。ほか食材支援。
2018年度	7件	195,871 円	発達障害・自閉症・無職 2、ギャンブル依存・認知症・無職 1、生保申請中・重度疾病・無職 2、うつ病・無職・金銭管理能力無し 2。ほか食材支援。
2019年度	6件	181,289 円	ギャンブル依存・疾病・無職・借金多額1、うつ病・家庭不和・離婚・無収入1、車上生活・借金多額・自己破産1、障害児の養育・生活費の困窮・離婚歴 2 回・借金多額1、無職・収入無し・借金多額1、年金受給資格はあるが手続不備で支給停止・税金多額滞納・ライフライン料金未納1

	27回	38,696 円	備蓄用食料の支援
2020年度	4件	118,224 円	うつ病・喘息・生活保護拒否・精神不安定1、子どもの養育能力の不安定・生活支援者皆無・生活保護拒否・就労支援中に約束キャンセル・体調不良・パートナーからの虐待1、無職・ライフライン・税金・保険・携帯料金未納・暖房機器・食料・運転免許無し1、娘(31歳)自閉症とてんかん・障がい1級・ライフライン・携帯料金未納・食料は実家と近隣からの支援1
	37回	94,013 円	備蓄用食料の支援
2021年度	4件	144,523 円	夫からのDV、うつ病・糖尿病・癌などの家族の病気、多額借金(1)。夫が窃盗事件で逮捕、離婚、無職、義両親との不仲、生活困難(1)。統合失調症及び甲状腺腫だが無受診、一人暮らし、ライフラインの滞納、障害年金の現況届の提出を怠り無年金、昔貯めた郵貯の通帳紛失(真意不明)など本人から支援を求めないケース(1)。新型コロナの影響で工場閉鎖で失業、生活回らない、複数社への求職活動は全て落とされる、カードローンなど多額の借金(1)。なお、上記に対する支援金は、ガス・電気・水道・灯油代に加え転居の初期費用として支援している。
2022年度	4件	101,318 円	74歳母と同居中、本人は40歳で糖尿病・高血圧で仕事への不安から現在無職。母の給料と年金収入が若干あるが本人のカードローンなどの借金110万円、親戚3人からの母の借金35万円に加え国保税、水道、ガス、医療費等の滞納額が多額となっている。本人32歳うつ病で現在無職、消費者金融残などの借金が多額、県社協と矢巾町社協も支援中。職場で勤務中同僚とのトラブルで自殺未遂を2回行った。警察から盛岡市福祉総合相談センターを経由し精神病院に入院、その後他の患者と折り合いが悪く退院するが、収入がなく死んでもかまわないと考えている。債務整理については社協弁護士と相談予定。 本人32歳、継続して支援中、生活保護申請を希望しているが、その前に職場の傷病手当金の申請を優先する予定だが申請の返信がない。これまでも電気、ガソリン、食費等の支援しているが手持ちのお金がなく、体調も悪い状況である。
	食料12袋	30,000 円	食品詰め合わせセットの配布。
2023年度	4件	123,092 円	経済的な課題を抱え、生活を維持することが出来なくなる恐れのある方への生活支援を行った
2024年度	3件	67,134 円	経済的な課題を抱え、生活を維持することが出来なくなる恐れのある方への生活支援を行った

注1 PTSD=心的外傷後ストレス障害

注2 自転車貸与事業 個人から寄付された自転車2台を修理し(修理代11,000円)貸出可能なものとして生活困窮相談者に貸与。

ウ 中間的就労支援事業

年 度	支援件数	対象者の主な内容、経緯等
2018 年度	1名	志和荘で、短時間就労支援を実施
2019 年度	－	取組み(対象者)無し
2020 年度	－	取組み(対象者)無し
2021 年度	2名	当ネットワークが岩手県県央域中間的就労訓練モデル事業に指定され、対象者 2 名を雪かきや送迎車輛の清掃等を延体験回数は 32 回。
2022 年度	1名	志和荘で、福祉の仕事体験事業として短時間就労を実施。仕事の内容は、書類の仕分け、車庫整理清掃及び敷地内清掃を延体験回数は 3 回。
2023 年度	－	取組み(対象者)無し
2024 年度	－	取組み(対象者)無し

2024年度 事業報告書

特別養護老人ホーム 志 和 荘

特別養護老人ホーム志和荘は、開設41年を迎え「地域を守る拠点」を再認識し、自ら介護サービスを創造し続けることが地域社会の評価につながるものであり、地域の要であり続けたいと確信するものである。

一方、信頼される「きめ細かく良質な介護サービス」を提供するため、全ての専門職種によるチームケアに万全を期し、入居者と家族に寄り添う生き方を尊重し、信頼関係を深め安心して生活できる介護体制を引き続き構築することを目指している。

また、引き続き新型コロナウイルス感染対策もあるが、2025年4月から面会制限を解除し対面による面会を実施するとともに、規模縮小してきた敬老会及び文化祭などを順次コロナ感染前の開催水準にすることを目指していきたい。

職員は、一人でできないことを多職種が力を合わせることによって成し遂げる力を持っており、志和荘役付部署会議等で確認・協議し、組織体として目標を持ち実践してきた。

また、介護施設経営で大きな障壁となっている課題が二つあり、一点目は介護現場における絶対的な介護人材の不足問題である。この「支え手」の減少は日本社会全体の大きな課題であり、志和荘としても危機的な状況に陥らないよう努力を重ね人材確保を図ってきたが、今後外国人材の確保についても協議・検討をしているところである。

二点目は利用者の安定的な確保の問題があるが、本町の介護保険事業計画の在り方も関連していると考えている。

なお、新型コロナウイルス感染対策については、敬愛会施設・事業所は勿論のこと、関連法人である帰厚堂施設・事業所との情報共有・連携により感染者の早期発見及び早期収束に努めていく。

志 和 荘 入 居 者 状 況

1. 入居状況

2025年3月31日現在

入居定員	男	女	計
97	16	81	97

2. 月別入退居状況

月	1日現在 入居者数	入居			退居		
		男	女	計	男	女	計
4月	95	2	1	3	0	1	1
5月	97	0	1	1	1	0	1
6月	97	0	1	1	1	1	2
7月	96	1	1	2	1	1	2
8月	97	0	1	1	0	0	0
9月	97	0	2	2	1	2	3
10月	96	0	2	2	0	1	1
11月	97	0	0	0	0	0	0
12月	97	0	1	1	3	3	6
1月	92	2	3	5	1	5	6
2月	91	1	3	4	0	1	1
3月	94	2	2	4	0	1	1
計		8	18	26	8	16	24

3. 退居理由

退居理由	死亡	入院	他施設	計
人数	21	3	0	24
割合	87.5%	12.5%		

4. 市町村別状況

入居定員	矢巾町	盛岡市	紫波町	その他	計
97	60	17	11	9	97
割合	62%	18%	11%	9%	

5. 要介護度状況

平均介護度 4.20

	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	0	0	3	6	7	16
女	0	0	0	14	31	36	81
計	0	0	0	17	37	43	97
割合	0%	0%	0%	18%	38%	44%	

6. 在居期間

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	7	4	1	4	0	0	16
女	18	32	15	13	3	0	81
計	25	36	16	17	3	0	97
割合	26%	37%	16%	18%	3%	0%	

7. 年齢別

	～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	計	平均
男	0	1	5	3	4	3	16	83.4
女	0	0	1	9	21	50	81	90.7
計	0	1	6	12	25	53	97	89.5
割合	0%	1%	6%	12%	26%	55%		

活 動 ・ 行 事 実 施 状 況

1. 交流行事

日 時	団 体 名	内 容 等
		※新型コロナウイルス感染予防のため、中止

2. 外出行事

日 時	イ ベ ント 名	内 容 等
		※新型コロナウイルス感染予防のため、中止

3. 企画行事

日 時	企 画 名	内 容 等
9 月 12 日	敬老会	式典、漆原栄美子ショー
10 月 8 日	南昌福祉の里文化祭	作品展示、ゲーム、職員余興

4. 定期活動

入居者懇談会(意見・要望・行事予定・お知らせ)

日時	入居者	職員	日時	入居者	職員
※新型コロナウイルス感染予防のため、中止					

音楽療法

日時	入居者
⇒同様に中止	

サークル活動等実施実績

サークル名		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
わくわくクラブ	回数	1	5	6	1	12	4	8	3	3	2	3	2	50
	人数	9	31	28	10	41	17	32	20	29	20	24	15	276
なごみ茶屋		77	80	78	77	76	75	74	73	69	64	70	73	886
合計延べ人数		86	111	106	87	117	92	106	93	98	84	94	88	1162

◎わくわくクラブ活動内容

各ユニット毎に散歩、運動やゲーム等の活動を実施

- ・施設周囲の散歩、外気浴、ドライブ、料理・おやつレク
- ・輪投げ、風船バレー、ボール遊び、体操・歌など

◎なごみ茶屋活動内容

各入居者様が選んだケーキを飲み物と一緒にいただく。

3階、もしくは各フロアごとにフロアに集まって開催。また、感染対応時は各ユニットへ配布し開催する。

機 能 訓 練

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
登録者	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	1,164
延べ人数	2,910	3,007	2,910	3,007	3,007	2,910	3,007	2,910	3,007	3,007	2,716	3,007	35,405
個別機能 訓練延人数	595	512	367	469	451	498	557	501	470	341	478	500	5,739

個別機能訓練内容

- (1) マッサージ・リラクゼーション
- (2) 可動域訓練・ストレッチ
- (3) 基本動作訓練(寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗動作)
- (4) 車椅子駆動訓練
- (5) 姿勢バランス訓練(座位・立位)
- (6) 歩行訓練(平行棒・歩行器・手引き歩行・杖歩行)
- (7) 生活リハビリ

志和荘避難等訓練実施状況

月 日	訓 練 内 容	参加者
8 月 9 日	矢巾町土砂災害防災訓練(情報伝達訓練)	1 人
9 月 15 日	土砂災害時の隣接施設への移送訓練	6 人
10 月 31 日	土砂災害時等災害訓練	77 人
12 月 12 日	夜間想定避難訓練 (通報、消火、避難訓練)	23 人
3 月 27 日	夜間想定避難訓練 (通報、消火、避難訓練)	10 人

実習受け入れ状況

1.介護実習

○北日本医療専門学校

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
			0人
人 数 合 計			0人

○盛岡医療福祉スポーツ専門学校

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
6月10日～6月28日	15日	2人	30人
人 数 合 計			30人

○岩手女子高等学校

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
5月7日～5月17日	8日	1人	8人
5月7日～5月17日	7日	1人	7人
6月10日～7月5日	18日	2人	36人
7月8日～7月12日	5日	2人	10人
9月9日～9月13日	5日	1人	5人
9月9日～9月13日	4日	1人	4人
12月2日～12月13日	9日	2人	18人
人 数 合 計			88人

介護実習延べ人数合計 118人

2.介護体験実習

○岩手医科大学(医学部)

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
		0人	0人

○盛岡医療福祉スポーツ専門学校 (社会福祉学科)

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
		0人	0人
人 数 合 計			0人

○岩手医科大学(歯学部・看護学部)

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
10月1日～10月2日	2日	5人	10人
10月3日～10月4日	2日	6人	12人
10月7日～10月8日	2日	6人	12人
10月9日～10月10日	2日	6人	12人
人 数 合 計			46人

介護体験実習延べ人数合計 46人

3.給食経営理論臨時実習

○盛岡大学(栄養科学科)

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
実績なし		0人	0人

医務室業務実績

1. 入居者健康管理状況

(1)入居者健康診断実施状況

実施月日 2024年5月27・28日、6月3・4・5日 84名血液検査 2024年12月5日 83名 Bx-P・心電図
実施人数 97名(他は新規入所時健診・体調不良により随時検査を実施している)

(2)入居者インフルエンザ HA ワクチン予防接種実施状況

実施月日 2024年11月
実施人数 93名接種 インフルエンザ感染者:0名

2. 職員健康管理状況

(1)職員健康診断実施状況

実施月日 2024年9月～12月 実施人数 61名 (35歳以上)
検査内容 血液検査生化学・貧血検査・血糖・尿検査・Bx-P・心電図
実施月日 2024年7月9・11・12・16日 実施人数 16名 (34歳以下)
検査内容 BX-P・心電図・尿検査聴力・視力検査

(2)夜勤従事者健康診断

実施月日 2025年1月20・21・22・23・24日 実施人数 46名
検査内容 生化学・貧血検査・血糖

(3)職員インフルエンザ予防接種実施状況

実施月日 2024年10月23日～開始 対象人数:78名:実施者73名、未接種者5名(ワクチン禁・産休中)

3. 新型コロナワクチン予防接種

2024年11月11・13・14・18・21日 職員27名
2024年11月25・26・27・28日 入居者83名

入居者通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	9	3	7	7	6	5	6	5	4	2	2	2	58
外科								1	1		2		4
整形外科	1					2		1		1			5
皮膚科													
眼科				1				1				1	3
その他								1					1
合計	10	3	7	8	6	7	6	9	5	3	4	3	71

看・介護連携による経管栄養(胃ろう)・痰吸引状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施入居者数	19	18	26	21	23	20	23	26	36	33	28	27	300
経管栄養実施者	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	67
喀痰吸引実施者	14	13	21	16	18	14	17	20	30	27	22	21	233

入居者入・退院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院者数			2	1		1		2					6
入院内容	脳血管疾患			1									1
	心疾患					1		1					2
	肺炎			2				1					3
	腸管麻痺												
	肺癌												
	大腸癌												
	尿路感染症												
	その他												
退院者数				1									

入居者看取り状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者看取り	1	1	1	1	0	3	1	0	5	6	1	1	21
内訳	施設内	1	1	1	0	2	1	0	5	5	1	1	19
	病院入院中	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2

口腔ケア業務実績

1.実施状況

- (1) 月一日 17 人平均で口腔ケア実施。
- (2) 入居者通院 0 人

2.お昼の志和放送

週 2 回、管理栄養士と協働で行っている。入居者に出演していただき一緒に会話や歌を歌うことで口の動きの良い訓練となり、刺激となっている。

3.口腔ケア実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
口腔管理加算対象者	94	97	93	93	93	94	94	95	96	94	92	92	1,127
歯科受診者	12	13	15	16	16	18	15	13	14	14	13	15	174

給食事業報告

[志和荘]

1.おいしく、安全な食事を提供し、満足度の維持向上を目指す取り組み

(1) 満足度の維持向上のため、季節の献立や行事の食事を提供した

月	行事名	行事献立	内 容
4	お花見弁当	お花見弁当	桜(オブジェ)を見ながらユニットごとにお弁当を楽しむ
7	流しそうめん	流しそうめん	悠和荘のみ実施(志和荘は、感染予防対策で中止)
8	お盆	お盆メニュー	煮しめや赤飯を提供
9	敬老会	敬老会弁当	敬老弁当(赤飯、天ぷら、抹茶ムースなど)
10	文化祭	文化祭メニュー	文化祭行楽弁当(エビフライ・卵焼き・煮物・ポテトサラダ・肉団子)
12	クリスマス	クリスマスメニュー	12/24 12/25 クリスマスメニュー
	クリスマス	クリスマスケーキ	12/25 はケーキ(白石食品(株)様寄贈)を提供
	大晦日	大晦日メニュー	12/31 の夕食に年越しそばを提供する
1	正月	正月メニュー	おせち料理や入居者の好む天ぷら・うなぎ・甘酒を提供
	春の七草	七草メニュー	昼食時七草粥を提供
	新年弁当の日	新年弁当	新年弁当(天ぷら・ちらし寿司・刺身・煮物・酢の物)
2	節分	節分メニュー	太巻き・いなり・恵方巻ロールケーキを提供
	バレンタイン	バレンタインメニュー	ハート型ハンバーグ・和え物 ・チョコムースを提供
3	ひな祭り	桃の節句献立	そうめん・花形豆腐寄せ・菜の花のお浸し・ひな祭りゼリーを提供
◎岩手食材の日			月1回

(2) ユニットケアでの給食の取り組み

ユニットで食事を盛り付けることにより家庭的な空間づくりができた。

米飯とお粥の炊飯をし、炊き立てを提供することができた。

(3) 情報収集を行い、状況にあった食事対応を行う。

加齢や持病(認知症含む)の進行等や本人様の嗜好に合わせた食事の提供の対応を行った。

食事提供内容の変更対応の回数

305 回

(4) 経口維持加算の取り組み

加齢や認知症の進行に伴い、摂食嚥下障害(むせこみや食欲の低下等)を有する入居者に対して多職種で、経口維持支援の取り組みを行った。 面会制限中のため、家族には電話等での経過報告を行った。

その際本人の嗜好や家族の意向を聴取し、ケアに取り入れることができた。

経口維持支援の取り組み人数(年間 累計)

422 名

【経口維持支援の取り組みの改善例】

- ・覚醒の改善ができた。姿勢の改善ができた。食事の楽しみができた
- ・体重が適正体重に近づく。
- ・食欲の改善ができた。

その一方、加齢や、全身状態の低下により、食べられなくなり、入院、食事中止になる方もいた。

2.ユニットレクを行い、入居者が生活を楽しめるよう、おやつや食事を楽しく提供する。

- (1) コロナウィルス感染予防に配慮しながら、ユニット単位で入居者、職員共に提供方法を工夫し実施した。

栄養士介入のレクリエーションの回数	年間合計 60 回
-------------------	-----------

- (2) 栄養士介入ユニットレクリエーション実施状況

月	内容	月	内容
4	コロナ感染時のため中止	10	ミニピザ・南瓜プリン・とんかつ
5	ケーキバイキング・雑炊・甘酒	11	焼肉・カスタード蒸しパン・紫芋のレアチーズ
6	あじさいゼリー・水ようかん・水まんじゅう	12	チョコレートムース・コロッケ・餅風(ゼリー)
7	かき氷・あじさいゼリー・七夕まんじゅう		
8	アイスクリーム・たこ焼き・プリン		
9	さつま芋プリン・モンブランプリン		

3.岩手県産の食材を使用した献立を月 1 回給食の委託業者と連携し、入居者に提供する。

岩手県産の食材を使用した食事を提供する事ができた。

年間 合計	12 回
-------	------

4.その他:緊急事態対応における給食の取り組み

- (1) 災害及び感染症発生時の飲食料等の備蓄状況について

熱源及び水道の停止を想定し、非常食及び非常時使い捨て食器等を備蓄。非常食は3日間(9食分)の非常食を備蓄。(非常食献立は軟菜食対応食)・経管栄養、嚥下調整食(ムース食)は3日分の在庫を確保。

- (2) 新型コロナウイルス感染予防マニュアル

新型コロナウイルス感染症対応マニュアルの見直しに伴い、食品の管理方法を再検討し、日常的に使用する栄養補助食品を定期的に消費しながら補充を行い、常に一定量の備蓄を維持する方法の「ローリングストック方式」を導入することとした。

2024 年度 外部研修参加状況

開催月日	開催研修内容	開催場所	参加職員
5/2～5/27	認知症チームケア推進研修	オンライン研修	佐々木節子 阿部美保 菊池友枝 藤原百合香 金子恵子 山本マミ
5/28～5/29 6/27～6/28 7/4～7/5 7/9～7/12 7/17～7/18	2024 年度ユニットリーダー研修	Zoom オンライン	木村美里
5/28～5/31	ユニットリーダー実地研修	いしどりや荘	合原莉会
6/10～6/11 7/9～7/11 8/2	令和 6 年度医療的ケア研修	アイーナ	菊池友枝 吉田直也
6/18	令和 6 年度介護職員合同入職式	ホテルメトロポリタン 盛岡NEWWING	山口紗季 佐々木七音
6/24～6/26	令和 6 年度医療的ケア研修		菊池友枝 吉田直也
7/2～7/3	令和 6 年度医療的ケア研修指導者養成 講座	アイーナ	伊藤利慧
7/2～7/3	令和 6 年度岩手県介護職員等医療的ケ ア研修 技術確認演習	アイーナ	眞龍寺淳子 鷹觜ゆきの 廣田宏喜
7/3	令和 6 年度福祉サービスの苦情を考える セミナー	アイーナ	佐々木善雅 山田美紀
7/24	生産性向上の取組の普及・拡大に向けた 介護事業所向けセミナー	Zoom オンライン	阿部美保 橋本晴美 菊池友枝 佐々木善雅 山田美紀
8/4	令和 6 年度矢巾町安全・安心の日	矢巾町公民館	佐々木節子
8/5～9/6	令和 6 年度岩手県介護支援専門員研修 課程更新研修	Zoom 岩手県産業会館	佐々木節子

8/6	八幡平市はらからの里へ経営視察	はらからの里	村松隆夫
8/8	令和 6 年度介護保険サービス事業所及び有料老人ホーム集団指導について	盛岡地区合同庁舎	山田美紀
9/11	苦情相談・解決研修	岩手県立大学	山田美紀
9/17～10/16	令和 6 年度岩手県介護支援専門員研修 課程更新研修	Zoom 岩手県産業会館	山本マミ
9/18～9/19	令和 6 年度虐待防止研修(応用編)	オンライン	菊池友枝
9/30	コーチング研修	アイーナ	山田美紀
10/2～12/24	令和 6 年度岩手県認知症介護実践者等 リーダー養成研修	盛岡市勤労福祉会 館	佐々木奈津江
10/15	地域リハビリ関係職員認知症について		佐藤真紀子 太田早紀
10/21～12/3	権利擁護研修	アイーナ	北館 愛 合原理史
10/22～12/18	令和 6 年度岩手県認知症介護実践者等 養成研修	盛岡市勤労福祉会 館	櫻岡敬真
11/5	職場環境づくりに関する研修	オンライン	阿部美保
12/10～1/20	デジタル中核人材養成研修	オンライン	櫻岡敬真
12/16	令和 6 年度成年後見制度普及・権利擁護 体制整備研修	アイーナ	山田美紀
12/19	令和 6 年度高齢者福祉施設職員研修	県民会館	橋本晴美 菊池友枝 上館祐二
1/17	中央ブロック高齢者福祉協議会 令和 6 年度職員研究会	アイーナ	山田美紀 澤里亜也子 佐々木美幸 藤原百合香
1/24	令和 6 年度 施設介護支援専門員研究会	ケアテック会議室	佐々木節子

志和荘委員会活動

委員会名	開催日時	内容
身体拘束・高齢者虐待 適正化委員会	4 月 10 日	・事例検討
	6 月 29 日	・2023 年度下半期の状況説明 虐待防止取り組み、アンケート結果
	7 月 24 日	・事例検討
	9 月 19 日	・事例検討
	12 月 19 日	・外部研修の取り組み説明と周知
	2 月 23 日	・2024 年度上半期の状況説明
	3 月 9 日	・事例検討
事故防止委員会	8 月 22 日	・2023 年度の事故報告、ヒヤリハット報告
	12 月 19 日	・2024 年度前期事故報告、ヒヤリハット報告 ・ヒヤリハット報告の区分、様式変更について
褥瘡防止委員会	毎月	・褥瘡予防の取り組み ・褥瘡発生状況と評価
サービス向上委員会	10 月 19 日	・サービス満足度調査の実施について
	3 月 27 日	・サービス満足度調査の実施結果について

各 ユニット事業実施実績

さくら町

【実践目標】

- (1) 日頃から入居者の身体と心の健康状態等を把握し、異常の早期発見に努めるとともに他職種との情報共有をしっかりと行い統一したケアを行う。
- (2) 入居者との関わりを大切にし、穏やかに過ごして頂けるよう環境づくりに努める。

【実績】

- (1) 日々の入居者の状態を観察、把握することが出来、異常の早期発見に努め、各職種との連携を行い統一したケアに努めることができた。
- (2) 入居者とコミュニケーション等行うことにより、その人その人の時間を大切に穏やかに過ごして頂けるよう環境づくりに努めることが出来た。

まつ町

【実践目標】

- (1) 入居者が安心・安全かつ穏やかに暮らせるように職員一人ひとりが業務・ケアに責任を持ち他職種との連携・情報共有を図る。
- (2) 一人ひとりの状態・ニーズを把握し、その人らしく暮らせるように個別ケアを実践する。

【実績】

- (1) 担当制や役割分担をすることで職員は責任を持ち入居者への安心・安全なケアを行うことができた。できない所はお互いに補いあった。また、職員間での情報共有は口頭、文書、伝言板、連絡ノートを活用し共有できるように努めた。
- (2) 一人一人の状態観察・コミュニケーションを通して状態・ニーズを把握できた。また、職員個々が把握した状態・ニーズをチームで共有し個別ケアに活かすことができた。

たけ町

【実践目標】

- (1) 入居者が快適に過ごせるよう個々に合わせた対応を行い職員間で情報共有を行う。
- (2) 入居者の状態変化に気づき多職種と連携し統一したケアを行う。

〔実 績〕

- (1) 入居者の変化に気付き伝言板や連絡板で情報共有し、ミーティングなどで話し合い統一したケアを行うことが出来た。
- (2) 職員一人ひとり責任を持ちケアにあたることができ、他職種とも連携を取り情報共有することができた。

うめ町

〔実践目標〕

- (1) 入居者個々に合ったケアを職員が統一し行えるようにし、不安などを軽減できるように努める。
- (2) 職員各々が責任を持ちケアにあたり、他職種と連携を図りながら情報共有を行っていく。

〔実 績〕

- (1) それぞれの行動把握や、訴えなどを共有することにより、統一したケアを行うことができ、入居者のストレスの軽減に努めることができた。
- (2) 何かあった際は、他職種とも相談しながら、ケアにあたることができた。

あやめ町

〔実践目標〕

- (1) 入居者の情報をユニット職員及び他職種間で共有し連携を図ることにより、個々に合わせたケアを行い安心して楽しく過ごせる環境づくりに努める。
- (2) 入居者及び職員の日々の健康管理を行ない、感染症等の予防に努め体調に変化があれば速やかに報告する。

〔実 績〕

- (1) 入居者の変化に合わせて、他職種間で連携を図りその時々状況に応じたケアを提供し安心して暮らせる環境づくりが出来た。
- (2) 感染症が発生した事案はあったがユニット内での感染拡大することなく対応できた。

すみれ町

〔実践目標〕

- (1) 入居者を尊重した関わりを持ち続けるとともに、一人ひとりの状態・ニーズをしっかりと把握し、心穏やかに過ごしていただける居心地の良い環境づくりを支援する。
- (2) 質の高いケアを提供できるように、職員の考える力・判断できる力を養い、必要な知識・技術を身に付け、安心・安全に生活していただけるよう努める。

〔実績〕

- (1) 入居者に寄り添い、その都度状態・ニーズを把握し、心穏やかに過ごしていただける空間を提供することができた。
- (2) 自身に不足しているところを勉強したり、また指導や補い合うことにより、個々が成長する機会を醸成することができ、入居者が安心・安全に生活できるよう支援できた。

すずらん町

〔実践目標〕

- (1) 職種間の情報伝達と連携を図り、入居者の安心・安全なケアに努める。
- (2) 入居者の暮らし方を尊重した関わりを持ち続け、その人らしい暮らしができる環境づくりに努める。

〔実績〕

- (1) ユニット・協力ユニットや多職種とも連携を図ることで、体調の変化の共有をし、早期発見することができた。
- (2) 日々の暮らしの中で入居者のニーズに応え、時には体を動かすレクを充実させることにより、楽しみを持って生活していただけるよう支援した。

すいせん町

〔実践目標〕

- (1) スタッフ間の情報共有・相談や意見交換を密に行い、入居者が安心して生活できる環境を整える。
- (2) 入居者と職員の健康管理に留意し、特に感染症を施設内に持ち込まないよう努める。

〔実績〕

- (1) ユニットミーティング、観察記録等を活用し情報共有に努めることができた。

(2)感染症を施設内に持ち込むことなく、入居者、職員共に健康管理に努めることが出来た。

ききょう町

〔実践目標〕

- (1)職員間の情報共有・相談を適宜行い、入居者が安心して生活できるように環境作りに努める。
- (2)早期に入居者の身体、精神的変化に気づき、入居者の状態にあったケアを提供する。

〔実 績〕

- (1)職員間でコミュニケーションを多くとりながら、こまめに情報共有や相談を行い、入居者が落ち着き安心して生活できる環境づくりができた。
- (2)入居者の状態をこまめに観察することで、早期に状態変化に気づき、職員間で情報交換しながら、適切なケアを提供することができた。

ひまわり町

〔実践目標〕

- (1)一人ひとりの訴えに沿った対応を心掛け、安心・安全に過ごせる環境づくりを行うとともに、ユニットレクを更に充実し豊かな生活ができるよう職員一同で努力をする。
- (2)入居者と職員の健康管理に留意し、ユニット内や他職種との情報共有を図りながら連携を密にする。

〔実 績〕

- (1)一人ひとりに合った声掛けを多くし、安心できるように努めた。超高齢のユニットであり、体調変化も多く、ユニットレクを充実させることは難しかった。
- (2)体調の変化に目を配ることに重点を置き、ユニット内での情報共有を密に行い多職種との連携にも努めた。

各種委員会・チーム事業実施実績

感染対策委員会

〔実践目標〕

- (1) 感染予防・蔓延予防に対しての職員の意識向上に努める。
- (2) 感染症発生時の対応について周知徹底を図る。
- (3) 職員の健康管理に努める。

〔実績〕

- (1) 敬愛会感染対策委員会の開催 年間10回開催。
- (2) 施設及び事業所においては随時感染対策会議を開催。
- (3) 定期健診 1～2回／年、ストレスチェック 78名(法人全体 144名)。

研修委員会

〔実践目標〕

- (1) 職員の経験年数等に応じた研修会を実施し、業務に役立ち満足度の高い研修を実施する。
- (2) 各委員会・チームの知識、技術を研修に組み込み、実践に活かせる研修を実施する。
- (3) 全職員が研修を受け、全職種において介護に関わるケアの質の向上を目指す。

〔実績〕

- (1) 経験年数に応じた段階別研修を取り入れ、個々の職員のポジションに必要な研修設定を行った。
また外部から講師を招いて研修を行い、満足度の高い研修を行うことができた。
- (2) 専門知識のある職員や担当者と相談しながら内容を決め、実践に活かせる研修を実施できた。
- (3) 全職員が意識して研修を受けたため受講率も高く、ケアの質も向上したと思う。

排泄チーム

〔実践目標〕

- (1) チームミーティングを開催し、チーム員の情報共有を行う。
- (2) 適正な排泄物品の購入と管理を行う。
- (3) 排泄マニュアルを定期的に見直しをする。

〔実 績〕

- (1)～(2) 定期的なミーティングは開催出来なかったが、それぞれの担当に連絡を行い排泄物品の購入と管理を行なう事が出来た。
- (3) 排泄マニュアルの見直しを実施した。

ケア向上チーム

〔実践目標〕

- (1) 新たに設けた介護理念を基に、職員全員が同じ方向を向いて、入居者様に寄り添ってケアが出来るように努める。
- (2) 職員の技術や知識の更なる向上を図る為。研修会や勉強会を実施する。
- (3) リスクマネジメントの知識を身に着け、事故防止を図り、安全・安楽な介護を提供する。
- (4) 次期リーダー・サブリーダー候補の育成に力を入れる。

〔実 績〕

- (1) 新たな介護理念を基にケアが出来るように介護理念の確認に努めることが出来た。
- (2) ミニ勉強会を開催し技術や知識の向上を図ることが出来た。
- (3) リスクマネジメント研修等で知識を深めることが出来ている。
- (4) ミニ勉強会の担当をサブリーダーにする等行いサブリーダーの意識向上に努めた。

食事チーム

〔実践目標〕

- (1) チームミーティングを月 1 回開催する。
- (2) 食事チーム内で歯科衛生士による口腔ケアの研修を年 2 回以上実施する。
- (3) 衛生ラウンドチェックの実施。
- (4) 食事に関する物品の補充。(自助食器等)

〔実 績〕

- (1) チームミーティングを月 1 回開催した。(感染対策期間を除く) 栄養補助食品の試食会やとろみ剤の見直し等行った。
- (2) 食事チーム内で歯科衛生士による口腔ケアの研修は年 1 回しか実施できなかった。(感染対策期間があった為)
- (3) ユニットのキッチンや、居室の洗面台の衛生ラウンドチェックを月 1 回実施したが、感染予防対策

のため 2022 年 2 月より中止。

- (4) 食事に関する物品の補充。(自助食器等)を行い、入所者様に合った食器やスプーンを提供することができた。

入浴チーム

〔実践目標〕

- (1) 快適な入浴環境を維持する為に、入浴の物品・備品の管理を徹底する。
- (2) プライバシー保護と入浴時の事故防止を徹底するためのマニュアルを常に更新して行く。
- (3) マニュアルに沿った感染予防を行う。

〔実 績〕

- (1) 物品・備品の管理を徹底し、不足する事なく快適な環境を整える事が出来た。
- (2) 定期的にマニュアルの見直しを行い、事故防止に努める事は出来たが、プライバシー保護の観点では改善及び徹底を強化していく必要がまだある。
- (3) マニュアルに沿って感染予防や蔓延防止に努める事は出来た。

元気回復ケアチーム

〔実践目標〕

- (1) 感染防止対策の範囲内で、サークル活動・行事の充実を図る。
- (2) より良い活動が行えるようチーム員同士が助け合い、それぞれが責任を持って業務を遂行できるような環境づくりを行う。
- (3) 感染対応時には、行事が中止になっても入居者様が楽しみをもって生活できるように、感染対策をしっかりと行った上で、可能な範囲内でサークル活動を計画する。

〔実 績〕

- (1) 感染防止のため、ユニットごとにレク活動を行うことが出来た。
- (2) より良い活動が行えるように、必要に応じて話し合いを設けた。
- (3) フロアごとに夏祭りやなごみ茶屋を開催し楽しむことが出来た。

環境チーム

〔実践目標〕

(1)施設内の環境を定期的に検証しながら、入居者様と職員にとって快適な環境づくりを行う。

(2)環境物品の管理徹底。

[実 績]

(1)取り組むことが出来なかった。

(2)消耗品は、欠品をおこさず取り組めた。その他物品では、使いたいときに無かった事もあり、負担をかけた。

防災対策チーム

[実践目標]

(1)避難訓練での技術の向上や万一災害が発生した場合、利用者様の安全を第一に行動ができるように訓練の実施に努める。

(2)職員1人ひとりが避難及び防災用備品の備蓄場所等を把握できるよう努める。

[実 績]

(1)避難訓練を行い技術の向上や訓練流れ又、声を掛け合い利用者様の安全第一に努めることが出来た。感染予防や蔓延予防の為に延期等の状況なってしまった。

(2)防災用備品の備蓄場所の確認を行い把握できるように努めることが出来た。

2024年度 事業報告書

介護老人福祉施設 悠 和 荘

総 括

新規入居者は5名で、入居率は99.4%だった。平均介護度は4.24で、新規入居までの平均日数は11.4日だった。ショートステイの新規利用者数は24名で、利用率は64.9%だった。前年度より7.9%ほど減少した。

新型コロナウイルスについては、9月に入居者2名、10月にショート利用者2名、11月に入居者1名が罹患した。また、職員は年度期間中に7名が家族起因により罹患するも、日々の感染対策の継続が拡大防止につながっておりクラスターには至っていない。

実践活動項目で重点的に取り組んだユニットケアシステムの深化については研修期間を終了して実践へと移行しており2月から8h夜勤の試行に取り組んでいる。3か月程度試行して職員間で継続有無を協議する。生産性向上については介護課長とユニットサブリーダー職員を中心に6月から定期的に委員会を開催して取り組みを行っている。

2024年度 悠 和 荘 入 居 者 状 況

1. 入居状況				2024年3月31日現在
入居定員	男	女	計	
29人	5	24	29人	

2. 月別入退所状況							
月	1日現在 入居者数	入居			退居		
		男	女	計	男	女	計
2023.4月	29人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
5月	29人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
6月	29人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
7月	29人	0人	1人	1人	0人	1人	1人
8月	29人	0人	1人	1人	0人	1人	1人
9月	29人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
10月	29人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
11月	29人	1人	0人	1人	0人	1人	1人
12月	28人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
2024.1月	29人	0人	0人	0人	0人	1人	1人
2月	28人	0人	1人	1人	0人	1人	1人
3月	29人	0人	1人	1人	0人	0人	0人
計		1人	4人	5人	0人	5人	5人

3. 入居前状況					
入所先	医療機関	介護老人保健施設	グループホーム	その他の施設	在宅
人数	0人	2人	0人	2人	1人
割合	0%	40%	0%	40%	20%

4.退居理由

退居理由	死亡	南昌病院	他病院	他施設
人員	4	1	0	0
割合	80%	20%	0%	0%

5.地区別

定員	徳田	煙山	不動
29人	6人	16人	7人
割合	21%	55%	24%

6. 要介護度状況

平均介護度： 4.24

	要介護度 1	要介護度 2	要介護度 3	要介護度 4	要介護度 5	計
男	0人	0人	1人	0人	4人	5人
女	0人	0人	5人	10人	9人	24人
計	0人	0人	6人	10人	13人	29人
割合	0%	0%	21%	34%	45%	100%

7. 在居期間

平均在居期間： 2.8年

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	1人	2人	1人	1人	0人	0人	5人
女	4人	9人	7人	4人	0人	0人	24人
計	5人	11人	8人	5人	0人	0人	29人
割合	17%	38%	28%	17%	0%	0%	100%

8. 年齢別

	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	計	平均
男	0人	0人	1人	0人	2人	2人	5人	87.8歳
女	0人	0人	1人	2人	8人	13人	24人	90.3歳
計	0人	0人	2人	2人	10人	15人	29人	全体
割合	0%	0%	7%	7%	34%	58%	100%	89.8歳

2024年度 悠和荘短期入所事業実績

1. 入居状況 (定員:8人/日)

2025年3月 31日現在

2024年度延べ人員 稼働率 : 64.9%	男	女	計
	741人	1,155人	1,896人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	72人	96人	55人	57人	36人	53人	50人	64人	67人	51人	66人	74人	741人
女	65人	78人	94人	70人	103人	95人	124人	120人	100人	125人	103人	78人	1,155人
計	137人	174人	149人	127人	139人	148人	174人	184人	167人	176人	169人	152人	1,896人

2. 年齢別 (実人数)

(平均年齢 86.1 歳)

	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	計
男	0人	2人	1人	19人	38人	3人	63人
女	0人	0人	0人	28人	65人	49人	142人
計	0人	2人	1人	47人	103人	52人	205人
割合	0%	1%	0%	23%	50%	24%	100%

3. 市町村別状況

市町村名	矢巾町	紫波町	盛岡市他	計
2024年度実人数	164人	37人	4人	205人
割合	80%	18%	2%	100%

4. 要介護度状況 (2024年度利用実人数)

【要支援平均: 2.00 】

【要介護平均: 2.50 】

	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0人	1人	8人	15人	10人	25人	4人	63人
女	0人	2人	45人	33人	40人	22人	0人	142人
計	0人	3人	53人	48人	50人	47人	4人	205人
割合	0%	1%	26%	22%	24%	23%	2%	100%

5. 在居期間 (2024年度実人員)

(平均利用日数 9.25 日)

	7日未満	7～14日未満	14～21日未満	21～30日未満	30日以上	計
男	37人	6人	2人	15人	2人	62人
女	76人	45人	15人	3人	4人	143人
計	113人	51人	17人	18人	6人	205人
割合	55%	25%	8%	9%	3%	100%

※当該利用月において、1利用者が複数回利用した場合は利用の都度計上

施設介護実習受け入れ状況

○盛岡医療福祉スポーツ専門学校

ローテーション実習(1年)

実 習 期 間	実習日数	実人数	延べ人数
3月5日～3月6日	2日	2人	4人
3月10日～3月11日	2日	2人	4人
3月12日～3月13日	2日	2人	4人
人 数 合 計			12人

○岩手医科大学 医学部 1年生 歯学部 5年生

実 習 期 間	実習日数	実人数	延べ人数
10月1日～10月2日	2日	3人	6人
10月3日～10月4日	2日	3人	6人
10月7日～10月8日	2日	4人	8人
10月9日～10月10日	2日	4人	8人
人 数 合 計			28人

○紫波総合高等学校

インターシップ

実 習 期 間	実習日数	実人数	延べ人数
8月1日～8月2日	2日	2人	4人
人 数 合 計			4人

介護実習延べ人数合計 44人

入居者との意見交換会実施状況

実施日	1丁目ユニット	2丁目ユニット	5丁目ユニット
4月2日		7人	
5月7日			3人
6月4日	7人		
7月2日		7人	
8月2日			6人
9月3日		7人	

実施日	1丁目ユニット	2丁目ユニット	5丁目ユニット
10月2日			4人
11月5日	8人		
12月13日	6人		
1月16日		8人	
2月4日			6人
3月4日	6人		

主な協議事項

- ・入居者からの悠和荘に対する意見、要望への回答や対応策について
 - ・前月の活動の振り返りや当該月の行事予定報告
 - ・各職種からの連絡事項など。
- ※感染症予防のため、毎月1ユニットずつ実施。

入居者・利用者認定調査実施状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1件	1件	2件	1件	0件	3件

10月	11月	12月	1月	2月	3月
0件	0件	1件	0件	3件	2件
					合計
					14件

医務室業務実績報告

1、入居者健康診断実施状況

実施月日 2024年5月27日～5月30日 実施人数 25 名

検査内容 血液一般・生化学・血糖

実施月日 2025年2月4日

検査内容 胸部レントゲン・心電図 実施人数 24 名

2、入居者インフルエンザ予防接種実施状況

実施月日 2024年10月29日 実施人数 28 名

3、入居者コロナワクチン予防接種実施状況

実施月日 2024年11月18日 実施人数 26 名

4、第1回 職員健康診断実施状況

34歳以下

実施月日 2024年7月9日、11日

検査内容 血液一般・生化学・血糖

実施月日 2024年7月9日、11日

実施内容 胸部レントゲン・心電図・尿検査・視力検査・聴力検査

実施場所 血液検査 盛岡臨床検査センター

それ以外は南昌病院

実施人数 2 名

35歳以上

実施月日 2024年9月～11月

実施内容 一般検診・B型肝炎・C型肝炎・HbA1C

実施場所 対がん協会 すこや館

実施人数 28 名

5、第2回 職員健康診断実施状況(夜勤従事者)

実施月日 2025年1月20日～24日

実施内容 血液一般・生化学・血糖・血圧測定 実施人数 16 名

6、職員インフルエンザ予防接種状況

実施月日 2024年10月29日～11月8日 実施人数 30 名

7、職員コロナワクチン予防接種状況

実施月日 2024年11月18日 実施人数 10 名

2024年度 外部研修参加状況

開催年月日	開催研修内容	開催場所	参加職員名
5/22	㈱FMI/人手不足お悩み解決セミナー	北日本ハイテクニカル クッキング	澤里亜也子
5/14-11/5	認知症介護基礎研修(eラーニング)	オンライン研修 (悠和荘)	菅川由佳
6/18	令和6年度/介護職員合同入職式	ホテルメトロポリタン ニューウイング	菅川由佳
6/22	アテントWEBセミナー/介護の快護化に向けた拘縮ケアと予防	オンライン研修 (悠和荘)	高橋久美子
7/2	令和6年度/社会福祉従事者リーダー職員研修	アイーナ	高橋久美子
7/11	生産性向上ビギナーセミナー	オンライン研修 (悠和荘)	井上正憲, 高橋久美子
7/29-31,8/22-23,9/27	認知症介護実践者研修	盛岡市勤労福祉会館	佐々木圭
8/4	令和5年度「矢巾町安全・安心の日」防災研修	矢巾町公民館	井上正憲
8/6	地域密着型特別養護老人ホームはらからの里/経営視察	八幡平市	村松隆夫, 井上正憲, 高橋久美子, 櫻
8/8	令和6年度介護保険サービス事業所及び有料老人ホーム集団指導	オンライン研修 (悠和荘)	井上正憲
8/29	給食運営の変更セミナー	農林会館	澤里亜也子
9/12	科学的介護システムLIFE説明会/第1回オンライン説明会	オンライン研修 (悠和荘)	井上正憲, 千葉克明, 高橋久美子, 澤里亜也子
9/24	いわて県食材マッチング交流会	アイーナ	澤里亜也子
10/16	ナリコマ・ユニット調理セミナー	オンライン研修 (悠和荘)	澤里亜也子
10/18	中央ブロック高齢者福祉協議会/第1回・相談員部会	姫神ホール	櫻岡涼子
10/21,11/1,12/3,2/6	権利擁護推進員養成研修	アイーナ	高橋久美子
10/24,3/6	口腔衛生管理体制研修/座学・実技【みちえ・やなぎさわ歯科】	悠和荘ホール, 居室	18名
10/29	外来感染対策向上加算に係るカンファレンス/盛岡医師会	オンライン研修 (悠和荘)	井上正憲, 津村秀子, 高橋久美子
11/18	介護事業者支援セミナー	オンライン研修 (悠和荘)	井上正憲
12/18-19	自衛消防隊員講習	矢巾町消防学校	井上正憲
11/23	高齢者施設向け感染体制制御研修	オンライン研修 (悠和荘)	高橋真由美, 櫻岡涼子
11/29	感染対策向上加算(Ⅱ)/南昌病院/実地指導	悠和荘	井上正憲, 高橋真由美
1/15	岩手高齢者施設対象感染対策WEBセミナー	オンライン研修 (悠和荘)	津村秀子, 高橋久美子
1/17	中央ブロック高齢者福祉協議会/第37回職員研究会/看護師部会/介護士部会	アイーナ/マリオス	津村秀子, 田山順子, 近谷容子
1/22	中央ブロック高齢者福祉協議会/新任職員研修	アイーナ	菅川由佳
2/6	介護人材定着支援セミナー	オンライン研修 (悠和荘)	小松めぐみ
2/12	やはば生活支援ネットワーク推進協議会役職員研修	さわやかハウス	上山真希
2/18	いわて働きやすい介護現場サポートセミナー	オンライン研修 (悠和荘)	小守林広大
2/26	令和6年度(介護予防)居宅介護支援事業所及び地域密着型サービス事業所集団指導	さわやかハウス	上山真希
3/9	高齢者施設等と医療機関の連携強化オンライン研修	オンライン研修 (悠和荘)	井上正憲
3/14	科学的介護システムLIFE説明会/第2回オンライン説明会	オンライン研修 (悠和荘)	高橋久美子
3/18	盛岡南部地域リハビリテーション関係職員オンライン研修	オンライン研修 (悠和荘)	井上正憲, 高橋真由美

2024年度 内部研修参加状況

開催年月日	開催研修内容	開催場所	参加職員名
4/18, 4/25	法人リーダー研修【志和荘・村松施設長講師】	志和荘3階	10名(対象者)
5/1-5/31	敬愛会オンライン研修【感染症の予防とまん延防止】	各ユニットPC他	29名
5/9	法人理念と法人基本計画/職業倫理と法令遵守【井上施設長講師】	悠和荘会議室	15名(他14名回覧周知)
6/1-6/30	敬愛会オンライン研修【食中毒の予防とまん延防止】	各ユニットPC他	29名
6/13,20 7/4,11,16,18,25	ユニット運営と情報の伝達と共有【高橋介護課長講師】	悠和荘会議室	29名
7/1-7/31	敬愛会オンライン研修【ハラスメントの構造と定義】	各ユニットPC他	29名
7/4	非常災害対策と避難確保計画について【井上施設長講師】	悠和荘会議室	15名(他14名回覧周知)
8/1-8/31	敬愛会オンライン研修【虐待防止に関する理解】	悠和荘会議室 各ユニットPC他	29名
11/7,21 2/6,27	介護職員等医療的ケア継続研修【高橋看護師の指導の下、痰吸引と経管栄養について実技研修を行った】	悠和荘会議室	14名(対象者)
8/15,22 9/5,12, 10/3	24Hシートの作り方・使い方【正路リーダー講師】	悠和荘会議室	29名
9/1-9/30	敬愛会オンライン研修【緊急時対応の理解】【非常災害時の対応】	悠和荘会議室 各ユニットPC他	29名
10/1-10/31	敬愛会オンライン研修【事故防止の理解】	悠和荘会議室 各ユニットPCほか	29名
10/10	法人研修【接遇】	志和荘3階	6名(他23名回覧周知)
11/1-11/30	敬愛会オンライン研修【プライバシー保護】【個人情報取扱いの理解】	悠和荘会議室 各ユニットPC他	29名
11/28	虐待防止グループ演習【井上施設長講師】	悠和荘ホール	13名(16他名回覧周知)
12/1-12/31	敬愛会オンライン研修【看取りケアの基本】	悠和荘会議室 各ユニットPCほか	29名
12/25,1/9,30 2/6,26,	ポジショニング研修【千田サブリーダー講師】	悠和荘ホール	18名(介護職員対象)
1/1-1/31	敬愛会オンライン研修【介護従事者の接遇】	悠和荘会議室 各ユニットPCほか	27名
1/23	感染症対応(BCP)について・図上訓練【井上施設長講師】	悠和荘会議室	12名(他15名回覧周知)
2/1-2/28	敬愛会オンライン研修【身体拘束排除の知識】	悠和荘会議室 各ユニットPCほか	27名
3/1-3/31	敬愛会オンライン研修【認知症ケア】	悠和荘会議室 各ユニットPCほか	27名
3/13	自然災害対応(BCP)について・図上訓練【井上施設長講師】	悠和荘会議室	14名(他13名回覧周知)

機能回復訓練実施状況

月	日 数		入 居 者				短 期 入 居 者				計			
			登 録 者		延 人 員		登 録 者		延 人 員		登 録 者		延 人 員	
	2023年 度	2024年 度	2023年 度	2024年 度	2023年 度	2024年 度	2023年 度	2024年 度	2023年 度	2024年 度	2023 年度	2024 年度	2023 年度	2024年 度
4	日 20	日 19	人 29	人 29	人 145	人 99	人 30	人 20	人 183	人 137	人 59	人 49	人 328	人 236
5	18	19	29	29	137	126	40	27	209	174	69	56	346	300
6	18	18	29	29	142	123	39	31	177	149	68	60	319	272
7	18	21	29	29	127	152	39	24	200	127	68	53	327	279
8	19	16	29	29	138	127	30	19	212	139	59	48	350	266
9	19	15	29	29	122	73	31	18	204	148	60	47	326	221
10	20	20	29	29	97	126	32	28	210	174	61	57	307	300
11	12	19	29	29	74	128	21	28	134	184	50	57	208	312
12	17	20	29	29	94	118	21	21	144	167	50	50	238	285
1	19	18	29	29	115	99	25	25	161	176	54	54	276	275
2	19	114	29	29	120	114	20	22	142	169	49	51	262	283
3	19	151	29	29	131	151	15	23	150	151	44	52	281	302
計	218	219	348	348	1,442	1,436	343	286	2,126	1,895	647	634	3,568	3,331

災害対策委員会活動報告

実 施 月 日	活 動 内 容
4月4日(木)	消防計画作成届け出(井上防火管理者)
5月21日(火)	非常災害時のプラスメッセージ送信による夜間連絡網訓練
6月20日(木)	日中想定避難訓練
9月15日(日)	矢巾町との「土砂災害時による高齢者近隣施設への合同移送訓練」実施
11月14日(木)	夜間想定避難訓練
12月18日(木)	特別教育自衛消防隊員講習(井上防火管理者、一泊二日)
3月14日(金)	年度末災害対策委員会議
5/23、8/16、 11/21、2/15	荘内の防災備品(照明器具点灯状況、発電機始動確認)の点検

活動・行事实施状況

1. 交流行事

※新型コロナウイルス感染症対策により交流行事は休止となりました。

2. 企画行事

実施月日	イベント名	内 容 等
4月27日	春のお食事会	お花見を実施後、各ユニットにてお弁当
4・5月	ドライブ	町内外をお花見等でドライブ実施
7月10日	流しそうめん	悠和荘ホールにて1. 2. 5丁目入居者・3丁目利用者参加
8月22日	夕涼み会(すいか割り)	各ユニットにて1. 2. 5丁目入居者・3丁目利用者参加
9月12日	敬老会	悠和荘ホールにて記念品贈呈、各ユニットで食事会
10月10日	収穫祭(文化祭)	悠和荘畑の野菜収穫と調理
11月5日	干し柿作り	悠和荘畑の柿を収穫、柿棚で記念撮影
12月21日～27日	ゆず湯週間	ゆず湯を楽しむ
12月25日	クリスマス会	各ユニットをサンタクロースが訪問してケーキを届ける
1月1日	元昼参り	悠和荘神社にてお参り、おみくじをひき今年の健康祈願
1月16日	みずき団子作り	各ユニットでみずき団子作り
1月9日	新年会	新年会のお祝いと食事会
2月3日	節分	各ユニットで豆まき
3月3日	ひな祭り	各ユニットでひな祭り会実施、雛壇との記念撮影

3. 定期活動

サークル活動名	実 施 日
楽々サークル	4月～11月、月1回活動実施、12月～3月ユニットごとに活動実施
園芸サークル	※適宜活動実施 5月11日、6月11日、7月10日、8月6日、10月1日、10月7日

4. ボランティア交流状況

企 画 名	団 体 名
敬 老 会	新型コロナウイルス感染症の予防のため、外部団体への活動の依頼なし
南昌福祉の里文化祭	新型コロナウイルス感染症の予防のため、外部団体への活動の依頼なし
悠和荘花壇作り作業全般	南昌やまゆりの会の皆様 (5月から10月まで随時実施)

運営推進会議 実施状況

- 第1回 2024年6月25日(火) 10時～ 悠和荘会議室
参加者：健康長寿課長、南昌行政区長、南昌やまゆりの会会長、入居者ご家族代表
事業所代表（入居者代表は感染症対策のため欠席）
議題：① 2023年度事業報告
② 活動報告
③ その他
- 第2回 2024年9月24日(火) 10時～ 悠和荘会議室
参加者：健康長寿課長、南昌行政区長、南昌やまゆりの会会長、入居者ご家族代表
事業所代表（入居者代表は感染症対策のため欠席）
議題：① 活動報告
② その他
- 第3回 2024年12月10日(火) 10時～ 悠和荘会議室
参加者：健康長寿課長、南昌行政区長、南昌やまゆりの会会長、入居者ご家族代表
事業所代表（入居者代表は感染症対策のため欠席）
議題：① 活動報告
② 職員体制の変更について
③ その他
- 第4回 2025年3月18日(火) 10時～ 悠和荘会議室
参加者：健康長寿課長、南昌行政区長、南昌やまゆりの会会長、入居者ご家族代表
事業所代表（入居者代表は感染症対策のため欠席）
議題：① 2024年度利用者満足度調査について
② 活動報告
③ その他

<調理レク実施状況>

・2024年度 悠和荘の入居者・ショートステイ利用者と一緒に調理レクを実施

月日	場所	おやつ	月日	場所	おやつ
4.3	5丁目	桜蒸しパン	8.19	3丁目	米粉のスフレクリーム添え
4.8	3丁目	抹茶のババロア	8.19	5丁目	すいかゼリー
4.15	2丁目	バースデーケーキ	8.20	1丁目	メロンフルーツポンチ
4.18	1丁目	バースデーケーキ	8.28	2丁目	メロンフルーツポンチ
5.2	2丁目	レアヨーグルトケーキ	9.9	3丁目	シャインマスカットゼリー
5.13	3丁目	ようかん	9.10	1丁目	いちじくのケーキ
5.16	1丁目	レアヨーグルト	9.11	5丁目	シャインマスカットゼリー
5.23	5丁目	桃のムースケーキ	10.17	5丁目	なめらかプリンケーキ
6.11	2丁目	あじさいゼリー	10.18	3丁目	抹茶シフォンケーキ
6.20	3丁目	いちごのロールケーキ	10.18	1丁目	なめらかプリンケーキ
6.24	1丁目	カフェゼリー	10.29	2丁目	スフレチーズケーキ
6.27	1丁目	あじさいゼリー	11.5	1丁目	なめらかプリンケーキ
7.8	3丁目	ビール風ゼリー(リンゴジュース)	11.8	2丁目	米粉のマーブルシフォンケーキ
7.16	2丁目	映えかき氷	11.11	3丁目	米粉のマーブルシフォンケーキ
7.24	1丁目	映えかき氷	11.21	5丁目	チーズプリン
7.30	5丁目	映えかき氷			
2024 年度実績 調理レク 31 回					

<入居者の栄養管理について>

- ・現在の食事提供は長期入居者で普通食 6 名、刻み食(コード 2-2)18 名、ソフト食(コード 3)0 名、施設栄養ケア食 2 名、経管栄養 0 名。低栄養に対応した食事提供が半数以上を占めている。また、施設購入でのケア食も継続。栄養状態の維持・改善をする入居者がほとんどであった。
- ・給食から提供される食事以外にも広範囲の対応に応える為、施設での栄養ケア食を継続中。
- ・経口維持加算算定者で、多職種連携により 1 名の入居者が栄養状態改善され、皮膚状態も改善。
- ・食の楽しみを継続できるよう、研修会に参加しながら最新の情報をとらえていく。

<帰厚堂・敬愛会の統一献立について>

- ・帰厚堂、敬愛会で統一献立がスタート。全く同じ献立内容での食事がスタート。施設間でのルールはありつつも、悠和荘はほぼ制限がないため、統一献立スタートしても特に支障なく食事の提供を継続できている。厨房業者との連携を図りながら今後も食事提供がスムーズに行える様連携していく。

◎ユニット別業務報告

1丁目ユニット

[目標]

- (1) 職員は研修を通してユニットケアで学んだ事を活かせるようにユニット職員全員で話し合い、意見を出し合いながらその人らしい暮らしを提供できるように努める。
- (2) 職員が意見を出し合える環境を作り、また、こまめに情報共有、意見交換を行い、ケアの統一ができるように努める。
- (3) スタッフの知識及び技術向上をめざし、事故防止に努める。

[評価]

- (1) (2) 職員が一人ひとりに合わせたケアに努められるように意見を出し合いながら支援することが出来たと思う。入居者様・ご家族の思いを情報共有し安心して生活が出来る様に支援出来たと思う。ユニットミーティングではスタッフ一人ひとりが意見を出し合い、ケアの統一に努めた。
- (3) 毎月の法人研修や個別オンライン研修を計画的に実施できていたと思う。ヒヤリハットの事例を見て話し合ったり、業務中に事故になりそうだったことを話し合いを行い事故を少しでも減らせるように努めた。

2丁目ユニット

[目標]

- (1) ユニットケア研修を通して、ユニットケアを行っていくために話し合い、意見を出し合って、理想のユニットケアの実現に向けて職員個々の向上を目指す。
- (2) その人の暮らしぶりを知り、入居者様に合ったケアを統一して行っていくために24シートを活用、見直しを行っていく。
- (3) 日頃から入居者様の観察を行い、ユニット職員・多職種と連携し情報共有に努める。

[評価]

- (1) ユニットケア研修を通して、個々にユニットケアについて理解や知識が深まったと思う。月1回のユニットミーティングでは入居者様の情報共有とケアについて意見を出し合い、話し合いを行う事ができた。
- (2) 入居者様それぞれの生活スタイルがつかめてきたので24生活シートに反映し、都度見直しを行うことができた。
- (3) 面会時やカンファレンス時、他職種からの情報等でご家族の意向を聞き、ユニット内で情報共有した。入居者様ともコミュニケーションを多く図り、普段のケアの中で意見要望を聞き取り、その人らしい生活が送れるよう努めた。

3丁目ユニット

〔目標〕

- (1) 各々ユニットケア研修で学んだ事をもとにユニット内で話し合い、見直し出来る所を見直していく。
- (2) 利用者様の生活スタイルを理解し、家族・多職種・ユニットスタッフで情報共有し“また来たい”と思って頂けるように統一したケアを行う。
- (3) ケアソフト(24シート)を活用し情報共有する。定期的な見直しを行う。

〔評価〕

- (1) ユニットミーティングで話し合いを行い、見直しをする事が出来た。今後も検討を行い、ユニットケアを進めていけるよう努めたい。
- (2) 多職種と家族と情報共有を行い、利用者様生活を支援出来たが、統一したケアは出来ていない部分があったので統一したケアを行えるようにしたい。
- (3) 24H シート入力方法を学び、ユニットスタッフそれぞれで見直しを行う事が出来た。今後も継続していきたい。

5丁目ユニット

〔目標〕

- (1) ユニットケアについて学び、理解することで利用者様の生活リズムに合わせたケアの提供やご家族や利用者様のニーズをケアに反映させられるように支援する。
- (2) 介護職、他職種との報告、連絡、相談をしっかりと行い、事故防止に努める。
- (3) スタッフ同士の情報共有、密に意見を出し合いながら日々変化する入居者様の状態に合わせたケアを行う。

〔評価〕

- (1) ユニットケアの研修に参加することで理解し業務に反映することができた。また入居者それぞれの生活リズムに合わせ、業務内容を変更し改善を図ることが出来た。
- (2) 他職種と連携を図り、事故防止と対策を迅速に講じることが出来た。
- (3) ユニットミーティングや連絡ノートを活用しながら情報共有を行い入居者の状態に合わせたケアを行うことが出来た。

2024年度 事業報告書

幼保連携型認定こども園
こずかたこども園

〈総括〉
 2024年度は、1号認定5名、2・3号認定児86名の計94名でのスタートとなった。1号認定児は、定員6名に対し最終在籍児童数は8人となり(前年比△2名、80%)2・3号認定児は、定員100名に対し最終在籍児童数は92名となり(前年比△8名、92%)、合計100名(前年比△10名、90.9%)と減少している。市町村別でみると矢巾町が前年比93.9%、紫波町80.9%と減少しているが、盛岡市125%、その他100%と増加・維持している市町村もある。今年度の児童数とともに、これまでの利用者数の実績や今後の見込みなどを踏まえ、適切に次年度以降の利用定員数を見直す必要がある。

2024年度 園児入所状況

2024年度			0歳児	1歳児	2歳児 (満3歳児含む)	3歳児	4歳児	5歳児	計	こずかたこども園
4月	1号認定	先月在籍児童数			0	2	1	2	5	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 52名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 39名
		計			0	2	1	2	5	世帯数 81世帯
	2・3号認定	先月在籍児童数	1	14	18	17	15	19	84	市町村内訳
		新入児童数	0	3	0	3	0	0	6	矢巾町 71名
		先月退園児童数	0	0	1	1	0	2	4	紫波町 17名
		計	1	17	17	19	15	17	86	盛岡市 2名
	在籍総児童数		1	17	17	21	16	19	91	その他 1名
5月	1号認定	先月在籍児童数			0	2	1	2	5	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 53名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 41名
		計			0	2	1	2	5	世帯数 83世帯
	2・3号認定	先月在籍児童数	1	17	17	19	15	17	86	市町村内訳
		新入児童数	2	1	0	0	0	0	3	矢巾町 73名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 17名
		計	3	18	17	19	15	17	89	盛岡市 3名
	在籍総児童数		3	18	17	21	16	19	94	その他 1名
6月	1号認定	先月在籍児童数			1	2	1	2	6	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 53名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 42名
		計			1	2	1	2	6	世帯数 83世帯
	2・3号認定	先月在籍児童数	3	18	16	19	15	17	88	市町村内訳
		新入児童数	1	0	0	0	0	0	1	矢巾町 74名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 17名
		計	4	18	16	19	15	17	89	盛岡市 3名
	在籍総児童数		4	18	17	21	16	19	95	その他 1名
7月	1号認定	先月在籍児童数			1	2	1	2	6	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 53名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 42名
		計			1	2	1	2	6	世帯数 83世帯
	2・3号認定	先月在籍児童数	4	18	16	19	15	17	89	市町村内訳
		新入児童数	0	0	0	0	0	0	0	矢巾町 74名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 17名
		計	4	18	16	19	15	17	89	盛岡市 3名
	在籍総児童数		4	18	17	21	16	19	95	その他 1名
8月	1号認定	先月在籍児童数			1	2	1	2	6	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 54名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 42名
		計			1	2	1	2	6	世帯数 83世帯
	2・3号認定	先月在籍児童数	4	18	16	19	15	17	89	市町村内訳
		新入児童数	1	0	0	0	0	0	1	矢巾町 74名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 18名
		計	5	18	16	19	15	17	90	盛岡市 3名
	在籍総児童数		5	18	17	21	16	19	96	その他 1名
9月	1号認定	先月在籍児童数			1	2	1	2	6	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 54名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 44名
		計			1	2	1	2	6	世帯数 83世帯
	2・3号認定	先月在籍児童数	5	18	16	19	15	17	90	市町村内訳
		新入児童数	2	0	0	0	0	0	2	矢巾町 76名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 18名
		計	7	18	16	19	15	17	92	盛岡市 3名
	在籍総児童数		7	18	17	21	16	19	98	その他 1名
10月	1号認定	先月在籍児童数			1	2	1	2	6	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 54名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 45名
		計			1	2	1	2	6	世帯数 83世帯
	2・3号認定	先月在籍児童数	7	18	16	19	15	17	92	市町村内訳
		新入児童数	1	0	0	0	0	0	1	矢巾町 76名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 18名
		計	8	18	16	19	15	17	93	盛岡市 4名

	在籍総児童数		8	18	17	21	16	19	99	その他	1名
11月	1号 認定	先月在籍児童数			1	2	1	2	6	男女別・世帯数	
		新入児童数			1	0	0	0	1	男児	55名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児	44名
		計			2	2	1	2	7	世帯数	83世帯
	2・3号 認定	先月在籍児童数	8	18	16	19	15	17	93	市町村内訳	
		新入児童数	0	0	0	0	0	0	0	矢巾町	76名
		先月退園児童数	0	1	0	0	0	0	1	紫波町	18名
		計	8	17	16	19	15	17	92	盛岡市	4名
	在籍総児童数		8	17	18	21	16	19	99	その他	1名
	12月	1号 認定	先月在籍児童数			2	2	1	2	7	男女別・世帯数
新入児童数					0	0	0	0	0	男児	55名
先月退園児童数					0	0	0	0	0	女児	44名
計					2	2	1	2	7	世帯数	83世帯
2・3号 認定		先月在籍児童数	8	17	16	19	15	17	92	市町村内訳	
		新入児童数	1	0	0	0	0	0	1	矢巾町	76名
		先月退園児童数	0	0	0	1	0	0	1	紫波町	18名
		計	9	17	16	18	15	17	92	盛岡市	4名
在籍総児童数		9	17	18	20	16	19	99	その他	1名	
1月		1号 認定	先月在籍児童数			2	2	1	2	7	男女別・世帯数
	新入児童数				0	0	1	0	1	男児	57名
	先月退園児童数				0	0	0	0	0	女児	44名
	計				2	2	2	2	8	世帯数	84世帯
	2・3号 認定	先月在籍児童数	8	17	16	18	15	17	91	市町村内訳	
		新入児童数	1	1	0	0	0	0	2	矢巾町	77名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町	18名
		計	9	18	16	18	15	17	93	盛岡市	5名
	在籍総児童数		9	18	18	20	17	19	101	その他	1名
	2月	1号 認定	先月在籍児童数			2	2	2	2	8	男女別・世帯数
新入児童数					0	0	0	0	0	男児	57名
先月退園児童数					0	0	0	0	0	女児	43名
計					2	2	2	2	8	世帯数	83世帯
2・3号 認定		先月在籍児童数	9	18	16	18	15	17	93	市町村内訳	
		新入児童数	0	0	0	0	0	0	0	矢巾町	76名
		先月退園児童数	0	1	0	0	0	0	1	紫波町	17名
		計	9	17	16	18	15	17	92	盛岡市	5名
在籍総児童数		9	17	18	20	17	19	100	その他	2名	
3月		1号 認定	先月在籍児童数			2	2	2	2	8	男女別・世帯数
	新入児童数				0	0	0	0	0	男児	57名
	先月退園児童数				0	0	0	0	0	女児	43名
	計				2	2	2	2	8	世帯数	83世帯
	2・3号 認定	先月在籍児童数	9	17	16	18	15	17	92	市町村内訳	
		新入児童数	0	0	0	0	0	0	0	矢巾町	77名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町	17名
		計	9	17	16	18	15	17	92	盛岡市	5名
	在籍総児童数		9	17	18	20	17	19	100	その他	1名

特別保育事業実施報告

こすかたこども園

延長保育事業【短・標準時間】利用実績

月	前延長 (7:00～8:30)		1時間		1時間 (2回まで)		2時間		2時間 (2回まで)		24時間延長 (18:00～7:00)		計		計(前年度)		前年度比	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数比	延べ人数比
4	3	23	6	74	6	8	1	15	1	2	0	0	17	122	20	115	85%	106%
5	5	40	7	62	9	10	2	18	0	0	0	0	23	130	21	128	110%	102%
6	5	38	4	56	7	10	0	0	1	1	0	0	17	105	27	139	63%	76%
7	4	14	3	49	16	23	0	0	1	1	0	0	24	87	22	137	109%	64%
8	1	14	3	42	7	10	0	0	1	1	0	0	12	67	24	110	50%	61%
9	2	19	6	43	12	15	0	0	0	0	0	0	20	77	26	138	77%	56%
10	3	26	5	34	16	19	0	0	2	3	0	0	26	82	24	162	108%	51%
11	3	18	5	42	10	16	0	0	1	1	0	0	19	77	24	126	79%	61%
12	2	19	6	47	12	15	1	4	0	0	0	0	21	85	30	172	70%	49%
1	0	0	5	32	8	10	0	0	1	0	0	0	14	42	21	143	67%	29%
2	1	1	5	26	9	11	0	0	0	0	0	0	15	38	30	162	50%	23%
3	1	1	7	39	14	20	0	0	1	1	0	0	23	61	32	169	72%	36%
計	30	213	62	546	126	167	4	37	9	10	0	0	231	973	301	1,701		

年間実利用人数 56 人

一時預かり事業【一般型】利用実績

月	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		計		計(前年度)		前年度比	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数比	延べ人数比
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	-	-
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	-	-
計	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2		

年間実利用人数 1 人

病児保育事業【体調不良児対応型】利用実績

月	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		計		計(前年度)		前年度比	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数比	延べ人数比
4	1	4	8	10	4	5	3	3	6	7	4	4	26	33	20	24	130%	138%
5	2	2	10	15	8	11	5	7	3	4	2	2	30	41	27	38	111%	108%
6	3	4	7	10	5	5	2	2	3	3	6	7	26	31	34	48	76%	65%
7	1	1	7	11	7	7	2	4	1	1	7	8	25	32	28	40	89%	80%
8	4	4	3	4	3	3	4	5	2	2	3	3	19	21	14	23	136%	91%
9	3	4	3	3	5	5	4	5	3	3	0	0	18	20	24	29	75%	69%
10	7	11	7	9	5	9	5	7	3	5	10	13	37	54	27	44	137%	123%
11	5	6	4	5	5	6	8	9	4	4	4	4	30	34	34	49	88%	69%
12	4	9	0	0	1	1	2	4	8	14	3	4	18	32	34	52	53%	62%
1	4	7	2	2	0	0	3	3	2	2	2	2	13	16	24	30	54%	53%
2	6	8	5	5	5	6	4	4	0	0	1	1	21	24	33	40	64%	60%
3	1	1	2	3	0	0	5	6	3	3	4	4	15	17	30	41	50%	41%
計	41	61	58	77	48	58	47	59	38	48	46	52	278	355	329	458		

年間実利用人数 93 人

休日保育利用実績

月	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		計		計(前年度)		前年度比	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数比	延べ人数比
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	1	3	100%	67%
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1	4	1	2	100%	200%
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	3	1	0	100%	-
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	2	3	1	4	200%	75%
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	3	100%	33%
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	1	4	100%	50%
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	3	2	4	50%	75%
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	4	100%	25%
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	-
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	1	3	100%	67%
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	1	2	100%	100%
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	3	100%	33%
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	24	12	24	13	33		

年間実利用人数 1 人

行 事 実 施 報 告

実 施 日	行 事 名	内 容 等
4 月 6 日	第6回 入園・進級式	新入園児と在園児全保護者対応で入園進級をお祝いした。
4 月 16・23 日	徳丹城春まつり合同練習	徳丹城春まつり(4月 29 日)と一緒に踊る煙山保育園・ふどうこども園・ニチイキッズ矢幅駅前保育園と合同練習を行なった。
4 月 22～26 日	畑づくり	こずかたランドの畑の周りの草取りなどを以上児で行ない、夏野菜などを植える準備を行なった。
4 月 25 日	4月の誕生会	4月の誕生児のお祝いをした。
4 月 27 日	徳丹城春まつり(5 歳児)	矢巾町内の保育施設の年長児と一緒に演技をして徳丹城春まつりを盛り上げた。
5 月 2 日	子どもの日のお祝い会	子どもの日の由来を知り、3・4歳児の代表の子ども達と 5 歳児の子ども達がそれぞれ熊に扮した職員との相撲を楽しんだ。
5 月 9 日	じゃがいも・夏野菜植え さつまいも植え(5歳児)	さつまいもや夏野菜(ピーマン、ナス、キュウリなど)をこずかたランドや、えここファームに植えた。じゃがいもの栄養素について食育指導を受けたあと生長に興味を持ち、種芋を植えた。
	尿検査(予備日 16 日)	尿検査を行ない、健康状態を把握した。
5 月 20 日	絵本のひろば (未就園児と保護者・4歳児)	未就園児親子を園に招待し、子育て支援センターの職員の方による絵本の読み聞かせ、4歳児の子どもたちは歌をうたい交流を持ったりゲーム遊びをした。また、子育てについての疑問などにお答えした。
5 月 22 日	バケツ田んぼづくり	こずかたランドに準備したバケツに土や肥料、水を入れてかき混ぜて稲田んぼの準備をした。
	お米の苗を植えよう	お米の生長の仕方を知り、自分たちで用意したバケツ田んぼにお米の収穫を楽しみに稲を植えた。
	内科検診 (予備日 5 月 29 日)	成長発達の他、皮膚状態や姿勢などを見ていただき、再受診などを勧めていただく。経過観察中のお子さんの成長を見ていただく。
6 月 4 日	歯のおはなし	歯を丈夫にするための良い食品を知り、歯の大切さや正しい磨き方を知った。
	矢巾町人権啓発事業 「人権の花」贈呈	社会福祉法人新生会ワークセンターむろおかの利用者の方が育てたお花をいただく。
6 月 5 日	歯科検診	歯の状態を把握し、虫歯の有無をチェックしご指導をいただいた。
6 月 9 日	矢巾町消防演習(5 歳児)	矢巾町内の年長児と一緒に演技を行ない、消防演習を盛り上げた。
6 月 19 日	6月の誕生会	6月の誕生児のお祝いをした。
6 月 21 日	親子遠足(4・5歳児)	3・4・5歳児の保護者対象で、盛岡市動物公園に出かけた。 (子ども達のみ大型バス・マイクロバスに乗り向かう。)
6 月 25 日	未満児保育参観	0・1・2歳児の保護者の皆様に参加していただき触れ合い遊びなどを一緒に楽しんでいただき園での様子をお知らせした。
6 月 27 日	演劇鑑賞 (劇団クスクス)	劇団クスクスのお二人によるおはなしシアター「とんでいったぼうし」人形劇「3枚のお札」を敬寿荘の利用者の方と鑑賞する。
7 月 5 日	プール開き	水遊びの約束事を知り、水遊びに期待が持てるように勧める。
	七夕会	七夕飾りについて各クラスの代表が発表し、その後職員の寸劇で七夕の由来を知った。
7 月 13 日	夏まつり(全園児対象)	子どもたちと保護者・職員で夏まつりにちなんだ出店やゲーム遊びを楽しんだ。

実施日	行事名	内 容 等
7月19日	矢巾町巡回相談	矢巾町発達支援コーディネーターが来園し、子ども達の様子を見ていただき、これからの保育についての方向性のアドバイスをいただいた。
7月30日 8月2日	ふれあいランドプール (5歳児)	ふれあいランドプールに出かけ、大きなプールに入り、水に親しんだ。
7月26日	7月の誕生会	7月の誕生児のお祝いをした。
8月1日	じゃがいも掘り	カレークッキングに向けて、育てたじゃがいもの収穫をした。カレークッキングへの期待を持ちながら、頑張った。
8月6日	ことばの観察会(5歳児)	言葉の発達状況を把握し、助言をいただいた。
8月9日	カレークッキング(5歳児)	前日に豚肉や玉ねぎ・人参をユニバースで5歳児が買い物をし、3.4.5歳児がそれぞれ育てた夏野菜を収穫。5歳児が栄養士の指導の下カレークッキングに挑戦しお昼ご飯で食べた。
9月4日	大根の種蒔き	大根の生長を楽しみにしながら、こずかたランドの畑に種まきをした。
9月6日	十五夜誕生会	9月の誕生児のお祝いをした。お月見の由来を知った。
9月 10・13・25日	運動会練習 (4・5歳児のみ)	運動会に向けて4・5歳児が矢巾町体育館で練習をした。
9月18日	稲刈り(5歳児)	春に植えた稲を自分たちで収穫し、おにぎりパーティーへの期待を持った。
9月27日	ケアセンター南昌敬老会	センター内の敬老会に5歳児が招待され、歌を披露し会を盛り上げた。フォークグレースさんと一緒に歌を歌い楽しいひと時を過ごした。
9月28日	第6回 運動会	色々な競技に意欲的に参加し、最後まで頑張る気持ちを持った。
10月3日	森の学校 (岩手県緑化推進委員会)	森づくりの活動の一環として、森の子どもたちのどんぐりを植え苗木を育て2年後には植樹予定である。
10月8日	盛岡中央消防署見学 (5歳児)	盛岡中央消防署に出かけ特別車両に実際に乗ったり、消防士の仕事風景を見たり、消火活動の仕方や子どもたちができる事などを学んだ。
10月10日	さつま芋掘り(4・5歳児)	こずかたランドでさつま芋掘りをし、大小さまざまなさつま芋を掘るたびに歓声をあげて大喜びだった。
10月11日	どんぐり拾い(4・5歳児)	森が丘児童公園に行き、どんぐり拾いをした。
10月16日	10月の誕生会	10月の誕生児のお祝いをした。
10月23日	内科検診(全園児)	体の発達や成長の様子を記録し、健康状態を把握した。
10月31日	ハロウィンパーティー	ハロウィンのお祭りについて知り、4・5歳児はセンター内を仮装で楽しむ。ケアセンター南昌内の職員の方々より沢山お菓子をいただいた。
11月14日	七五三誕生会	七五三の由来を知り、健康でいられるのは日頃お世話をしてくれる家族のおかげであることを知り感謝した。11月の誕生児のお祝いをした。
11月18日	岩手県立防災センター (4歳児)	県立防災センターに4歳児が出かけDVD鑑賞で火事の怖さを知り、消防車に実際に乗ったり、煙体験・地震体験をし、消火活動の仕方や子どもたちができる事などを学んだ。
11月21日	矢巾町巡回相談	矢巾町発達支援コーディネーターが来園し、子ども達の様子を見ていただき、これからの保育についての方向性のアドバイスをいただいた。
11月27日	クリスマス飾りつけ	さつま芋の蔓を利用しリースを作ったものを田園ホールに行き、クリスマスツリーに飾りつけをしてきた。
12月7日	お楽しみ会	歌やお遊戯や生活発表をし、保護者の方へ成長を見ていただいた。

実施日	行事名	内 容 等
12月11日	おにぎりパーティー (5歳児)	収穫した稲を玄米になるまでの作業を体験し、おにぎり作りを楽しんだ。
12月18日	大根掘り	栽培していた大根の収穫をした。
12月25日	クリスマス誕生会	12月の誕生児のお祝いをした。クリスマスの由来などを知った。各クラスのお遊戯を発表し合い、楽しい時間を過ごした。
12月26日	門松作り(4・5歳児)	門松の由来を知り、楽しく季節の花を飾り、4.5歳児それぞれクラスでひとつの大きな門松作りに挑戦。新年を迎える準備をした。
12月27日	年末集会	年末年始の安全な過ごし方を知った。
1月7日	年始集会	楽しかった思い出を話し、新年を迎えたことについて知った。その後、正月遊びを楽しんだ。
1月10日	みずき団子づくり	みずき団子の由来を知り、紙粘土を団子に見立てみずきの木に飾った。
1月22日	誕生会	1月の誕生児のお祝いをした。
2月3日	豆まき会	矢巾町商工会議所青年部の方が鬼に扮して子ども達の前に登場して、心の弱い鬼を退治するよう約束をした。
2月4日	保育参観(未満児)	成長した子どもたちの様子を保護者の方に来ていただき、園生活の様子を見ていただいた。
2月13日	保育参観(以上児)	成長した子どもたちの様子を保護者の方に来ていただき、園生活の様子を見ていただいた。
2月18日	誕生会	2月の誕生児のお祝いをした。
2月28日	新入園児面接	来年度入園予定の親子を対象にこども園の説明をし、個別面接をして健康状態や成長の様子を教えていただいた。入園に期待を持っていたけるように対応した。
3月3日	ひなまつり誕生会	雛まつりについて知り、3月の誕生児のお祝いをした。
3月13日	卒園式総練習	卒園する子ども達の卒園式の総練習を行なった。
3月14日	おわかれ会	年長児に沢山お世話してもらった感謝の気持ちを込めて、激や歌をうたいプレゼントを贈った。
3月19日	修了式	成長したことを認め合い、来年度に期待を持ち、退園する友達とのお別れ会をした。
3月20日	第6回 卒園式	卒園する子ども達をみんなでお祝いした。

※こずかたランドで、さつまいも・かぼちゃ・人参、じゃがいも、枝豆

えここファームで、きゅうり・トマト・ナス・ピーマン、プチトマトを栽培しました。

特色ある活動実施報告

活 動 名	実施回数	内 容 等
フラワーフレンド (3～5歳児)	12回	・個々の花器に、季節の花を自由に飾ることを楽しむ。 ・草花に興味を持ち門松作りを楽しむ。(12月)
運動遊び (3・4歳児)	10回	・全身運動の基礎を学び、体を動かす楽しさを知る。 ・色々なゲームに触れ、ルールのある遊びを楽しむ。
英語で遊ぼう (4・5歳児)	10回	・英語講師のもと、英語の歌や簡単な挨拶、会話の仕方に触れる。またゲームなどにも挑戦する。
英語で遊ぼう (3歳児)	10回	・英語講師のもと、遊びながら英語に触れ慣れ楽しむ。
サッカー教室 (5歳児)	9回	・サッカーボールに慣れ、簡単なルールを身に付ける。 ・全身運動を楽しむ。

交通安全・防犯指導実施報告

実施日	指導のねらい	実 施 内 容	備 考
4月12日	・登降園の仕方を知る。 ・駐車場の使い方を知る。	・駐車場の自動車の安全な乗降を知る。	
5月21日	・歩道の歩き方を知る。 ・信号機の見方や種類を知る。	・歩道の歩き方、信号の見方や信号のない横断歩道の歩き方について実践指導を行なった。	・「い・か・の・お・す・し」について確認をする。
6月7日	・雨の日の歩き方や雨具の使い方を知る。	・実際に雨具を使用し、使い方を知る。	矢巾町交通指導隊依頼
7月23日	・不審者対応について知る。	・不審者対応や、子どもたちの避難の仕方などを紫波警察署の方の指導の下、確認した。	紫波警察署依頼
8月 5～9日	・「いかのおすし」の意味を知る。 ・混雑時の危険について知る。	・長期休みの過ごし方について「いかのおすし」の意味を知らせ、防犯について確認し、自分の命は自分で守ることの意味を伝えた。	
9月2日	・横断歩道の渡り方と道路の危険について知る。	・横断歩道の渡り方や道路の危険について話を聞く。	・3～5歳児は集会に参加 ・0～2歳児は各クラスで実施
10月 1～4日	・交通ルールの大切さを知る。	・散歩の中で道路の歩き方を確認し、道路の安全な歩き方や信号の見方を確認した。	
11月 13～17日	・道路の安全な渡り方を知る。	・交通ルールを確認し、安全な道路の歩き方について確認した。	

実施日	指導のねらい	実 施 内 容	備 考
12 月 17 日	・ 年末年始の様々な事故を知り、安全について学ぶ。	・ 保護者と一緒に行動をすることや、繁華街での安全な行動を子ども達と話し合いながら指導した。	紫波警察署依頼
1 月 17 日	・ 冬季間の交通安全について知る。	・ 「防寒具の身につけ方、雪道の歩き方」について実践しながら冬道の安全な歩き方を確認した。	
2 月 17～21 日	・ 防犯と交通安全のルールやマナーについて学ぶ。	・ 実践を通して、進級に向けて「防犯・交通安全意識」を高めた。	
3 月 25 日	交通ルールの遵守 ・ 1 年間の活動を振り返り、命を守ることの大切さを確認する。	・ 一年の振り返りとして矢巾町交通安全指導隊指導していただいた。	矢巾町交通安全指導隊による指導と 5 歳児は道路での実地指導予定だったが天候不良のため中止。

ボランティア及び実習生受入報告

団体名・人数	期 間	内 容
北日本医療福祉専門学校 1名	2024年7月1日～2024年7月10日 2024年9月2日～2024年9月13日	保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅰ-2
盛岡大学附属高等学校2年1名	2024年10月22日	職場体験
岩手県看護専門学校 3名	2024年8月28日～2024年8月30日	臨床実習
岩手県立大学 看護学部 8名	2024年10月15日～2023年10月16日	小児看護保育園実習
矢巾町立矢巾北中学校 5名	2024年10月15日～2024年10月16日	職場体験
矢巾町立矢巾中学校 2名	2024年10月23日～2024年10月24日	職場体験
岩手県子育て支援員 2名	2024年1月8日～9日 2024年1月14日～15日	研修見学実習

避難訓練実施報告

実施日(時間)	指導のねらい	実 施 内 容	備 考
4 月 17 日 (10:00～ 総合	・避難訓練の大切さを 知る。	・総合…合図・非常口を知らせ る。(サイレン・放送・誘導旗) ・「お・は・し・も」の約束につい て伝えた。	
5 月 24 日 (10:00～) 火災想定	・災害時の避難につい て知る。	・全園児を第一避難場所に避難 させ災害時の避難の仕方を知 らせた。 (ケアセンター南昌北側民家より火 災想定)	・避難滑り台体 験…4・5歳児
6 月 17 日 (10:00～) 地震想定	・「お・は・し・も」 の約束を守る。	・保育者の指示を聞き、約束を守 り避難する。 ・地震時に身を守るだんご虫ポー ズについて知らせた。	
7 月 17 日 (10:00～) 火災想定	・慌てずに避難する。 ・避難場所を知る。	・避難経路を知る。 ・避難滑り台の使い方を知り、職 員と共に慌てずに避難した。	・避難滑り台体 験…4.5歳児)
8 月 20 日 (10:00～) 水害想定	・水害・土砂災害の避 難の仕方を知る。	・放送を聞き、保育者の誘導で 保育室の安全な場所に避難し た。 ・水害の被害についての写真など の事例を通して知らせた。	・南昌ホールへ全 園児避難 ・8 月 27 日 ケアセンター南 昌合同避難訓練 (夜間想定)
9 月 5 日 (未定… 9:50 実施) 火災想定	・調乳室より火災。 ・自分の命は自分で守 る。	・放送を聞き、保育者の誘導で安 全に、第二避難場所に避難し た。	・避難滑り台体 験…3歳児
10 月 18 日 (10:00～) 火災想定	・地震から火災想定が 起きることを知る。	・放送器具が壊れた設定で地震が 起き、火災が発生した設定で煙 を吸わないように口をふさい で避難した。	・10 月 8 日盛岡 中央消防署見学 (5歳児) ・10 月 18 日 岩手県立総合防 災センター見学 (4歳児)
11 月 11 日 (未定… 15:10 実施) 火災想定	・午睡中の避難の仕方 を知る。	・午睡中、放送指示ではなく、 人の声で知らせ、非常口に集 まり指示を待ち、身支度後、 第一避難場所へ移動した。	

実施日	指導のねらい	実 施 内 容	備 考
12 月 13 日 (15:00～) 地震想定	・放送の指示をよく聞く。 ・1 分間うずくまる（非常口を開ける）。	・放送の指示で防災頭巾をかぶり第一避難場所へ避難し「お・は・し・も」の約束の確認をした。 ・自分で自分の命を守る大切さを伝えた。	
1 月 21 日 (10:00～) 地震・火災	・地震発生後、火災が発生することを知る。	・地震が起き、火災が発生した設定で防寒着を着用後、第一避難場所に避難した。 ・暖房器具の取り扱いの注意点について自分たちでもできることを知った。	
2 月 14 日 (17:00～) 火災想定	・約束を守り、慌てずに保育者の指示に従う。	・放送の指示に従い、保育室の安全な場所へ保育者、保護者とともに集まり待機。その後、第一避難場所へ移動し、地震の際の約束事を確認した。（ユニバース矢巾より火災）	
3 月 11 日 (10:00～) 地震想定	・東日本大震災を伝える。 ・緊急時に落ち着いて避難する。	・東日本大震災について伝え、命の大切さを知らせるとともに、緊急時の避難について再確認をした。	

行事食実施報告

月 日	行 事 名	献 立	お や つ
4 月 6 日	入園進級式		紅白お祝いポテト
4 月 25 日	4 月誕生会	ゆかりごはん わかめスープ メンチカツ ポテトサラダ バナナ	お楽しみケーキ
5 月 2 日	こどもの日のお祝い会	ごはん コンソメスープ ハンバーグ ブロッコリーサラダ バナナ	2 色ゼリー
5 月 16 日	5 月誕生会	たけのこごはん すまし汁 鶏肉の照り焼き 菜の花マヨ和え バナナ	お楽しみケーキ
6 月 19 日	6 月誕生会	あじさいごはん すまし汁 ハムカツ さっぱりサラダ メロン	お楽しみケーキ
7 月 5 日	七夕会	七夕ちらし 天の川スープ ハンバーグ 花野菜サラダ 七夕ゼリー	すいか

月 日	行 事 名	献 立	お や つ
7 月 13 日	夏まつり	サンドイッチ ジュース	
7 月 26 日	7 月誕生会	チャーハン 野菜スープ 鶏のからあげ 花野菜サラダ バナナ	お楽しみケーキ
8 月 27 日	8 月お誕生会	あんかけチャーハン 中華スープ 餃子 パイナップル	お楽しみケーキ
9 月 6 日	9 月お誕生会	秋の味覚ごはん 味噌汁 鶏の唐揚げ マカロニサラダ 梨	お楽しみケーキ
10 月 10 日	さつま芋掘り	ごはん 味噌汁 さばの塩焼き 納豆 和え 黄桃缶	ジャムサンド
10 月 25 日	焼き芋会	ハリハリごはん さつま汁 ブロッコリー サラダ バナナ	ピーチゼリー
10 月 31 日	ハロウィン パーティ	キャロットライス ポトフ ハンバー グ フレンチサラダ りんご	南瓜ケーキ
11 月 14 日	七五三誕生会	五目おこわ 味噌汁 鶏肉の照り焼き こまつな和え りんご	お楽しみデザート
12 月 7 日	お楽しみ会		お菓子セット
12 月 11 日	おにぎりパーティ	ごはん みそ汁 鶏の唐揚げ ひじきの 煮物 バナナ	コンソメポテト
12 月 25 日	X m a s 誕生会	チキンライス 冬野菜ポトフ お星さま コロケ 野菜ソテー りんご	お楽しみケーキ
1 月 7 日	冬の七草	七草ごはん 納豆汁 鶏肉の照り焼き ゆかり和え バナナ	フルーツポンチ
1 月 22 日	1 月誕生会	はりはりごはん みそ汁 鶏の唐揚げ ポテトサラダ みかん	おたのしみケーキ
2 月 3 日	節分	わかめごはん けんちん汁 ほっけ塩 焼き 五目煮 パイナップル	恵方ロール
2 月 4 日	未満児保育参観	ごはん 味噌汁 鶏肉のタルタル焼き なめたけ和え グレープフルーツ	お麩ラスク
2 月 13 日	以上児保育参観	ごはん 中華スープ ホイコーロー 大根サラダ パイナップル	大学ポテト
2 月 18 日	2 月誕生会	ピラフ 野菜スープ 白身魚フライ マカロニサラダ オレンジ	お楽しみケーキ

月 日	行 事 名	献 立	お や つ
3 月 3 日	3 月誕生会 ひなまつり	炊き込みご飯 味噌汁 鶏肉の塩こうじ 焼き きんぴらごぼう オレンジ	おたのしみケーキ
3 月 14 日	お別れ会 (5 歳児のリクエスト献立)	炊き込みご飯 サンドウィッチ 醬 油ラーメン 鶏の唐揚げ 春雨サラダ ポテトサラダ フライドポテト いち ごアイスのパフェ	ピーチゼリー
3 月 19 日	修了式	手作りお弁当	スパゲッティナポリタン 鵪の玉子
3 月 20 日	卒園式		鵪の玉子

食育講座実施報告

月 日	企 画 名	内 容 等
4 月 26 日	食べることの大切さについて知る。 講師紹介	「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さについて知った。
5 月 9 日	畑に植える野菜について 生長と栄養素について知る。	水槽を準備し、どの野菜が水に浮くか実験をし、野菜に興味を持つことが出来た。
6 月 26 日	食物と歯の健康について 歯を丈夫にする食物について知る。	丈夫な歯を作るために必要な食べ物の栄養について知った（野菜・豆腐・牛乳・魚・肉等）
7 月 31 日	様々な食材の切り方を知り、調理の仕方を知る。 旬の夏野菜の収穫を通して食材を知る。	料理によって野菜の切り方が違うことを知り、断面の様子や玉ねぎを切ると涙が出る事など特徴に気づいた。 夏野菜の栄養素について知った。また、野菜には「旬」があることを知った。
8 月 9 日	カレークッキング	カレーに使われる食材、野菜の栄養の話やカレーの作り方について知った。 その後、年長児はクッキングを楽しんだ。
9 月 17 日	2.5 歳児の食育指導 食具の持ち方などマナーを知る。	5 歳児は三大栄養素についてお話を聞き、箸の正しい持ち方をする事で食べやすく、こぼしにくくなることを知った。 また、よく噛むことで体の中でよく吸収されることを知った。 2 歳児はフォーク・スプーンの持ち方を知った。
10 月 25 日	さつま芋の育ち方や栄養素について知る。	さつま芋の育ち方や栄養について知った。

月 日	企 画 名	内 容 等
11 月 7 日	0・3歳児食事指導	栄養士に未満児の食事の様子を見ていただき食事形態や子どもたちの食事の好みや食べ方などを見ていただいた。 3歳児はマナーなどを教えてもらった。
12 月 25 日	行事の由来について知る。	クリスマスやお正月に食べる料理にはどんなものがあり、どうして食べるのかを知った。
1 月 10 日	食事のマナーについて知る。①食事場面での食器の使い方（1・4歳児）	楽しい食事にするためにはどのようなマナーで食べることがいいのか？みんなが気持ちの良い食事時間にするにはどうしたらよいか等クラス毎で食器の並べ方やマナーについて、知った。
2 月 10 日	一年の振り返り （大豆は何になる？七草粥には何の野菜が入っている？）	一年に体験したことや学んだことを振り返る。（大豆は何になるのか？七草粥とは？さつまい芋のヤラピンは体にどんな働きをするのか？などを復習した。）
3 月 23 日	食事を通して感謝の心を持つ。	食べ物の生長を知り、肉や魚などは命をいただいていることについて、感謝して食事をする大切さを知った。

2024年度 職員研修参加状況

こずかたこども園

開催年月日	開催研修等名	開催場所	参加職員名
令和6年4月23日	地域発達障がいサポート2024	紫波町役場	笹森 吉子
令和6年5月10日	幼児教育中核リーダー研修講座Ⅰ	岩手大学教育学部附属幼稚園	清川 ひとみ
令和6年5月11日	運動会実技研修会	なはんプラザ	泡淵 彩花 佐々木 博也
令和6年6月1日～2日	赤十字幼児安全指導法支援員養成講習	日本赤十字社岩手県支部	塚本 みどり
令和5年6月13日	岩手県保育研究大会 WEB研修	WEB	井上 奈都美
令和5年6月27日	児童施設職員研修	WEB	笹森 吉子
令和6年7月2・3日	社会福祉従事者リーダー職員研修会	アイーナ	道下 照代
令和6年7月9日	就学前教育管理職研修講座	岩手県立総合教育センター	笹森 吉子
令和6年7月17日	救命救急研修(矢巾分署)	南昌ホール	笹森 吉子 佐々木裕美 道下照代 廣田静 相馬真由美 高橋友絵 中村薫 北田のぞみ 吉田牧子 千葉美南 平澤亜紀 井上奈都美 成田久美子 清川ひとみ 泡淵彩花 小笠原慈 村松一恵 佐々木博也 及川佳子 平野梢
令和6年7月18日	矢巾町支援員研修会	矢巾町公民館	笹森 吉子 佐々木 裕美
令和6年7月23日	こども子育て支援事業ワークショップ	矢巾町公民館	佐々木 裕美
令和6年7月26日	岩手県立盛岡みたけ支援学校「支援研修会」 令和6年度 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅱ	岩手県立盛岡支援学校 高等部校舎	佐々木 裕美
令和6年7月29日	矢巾町幼保小担当者協議会	矢巾町公民館	相馬 真由美 佐々木 裕美
令和6年7月30日	第43回 「幼児教育サマースクール」	ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング	平澤 亜紀
令和6年7月31日	第43回 「幼児教育サマースクール」	ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング	北田 のぞみ
令和6年9月11日	紫波ブロック保育協議会 施設長研修	認定こども園 ひかりの子 星山えほんの森保育園 たちばなこども園	笹森 吉子
令和6年10月15日	矢巾町保育協議会 園長研修	盛岡大学附属幼稚園 盛岡大学	笹森 吉子
令和6年10月15日	こども赤十字活動研究会	矢巾町役場	廣田 静
令和6年10月29日	紫波ブロック保育協議会 副園長・主査・主任研修	岩手大学教育学部附属幼稚園 星山えほんの森保育園	佐々木 裕美

令和6年11月5日	令和6年度 発達障がいスキルアップ研修会 ペアレントトレーニング研修会	岩手県高校教育会館	北田 のぞみ
令和6年11月8日	令和6年度岩手県保育技術研修会	岩手県民情報交流センター	千葉 美南
令和6年11月12日	幼児教育中核リーダー研修講座Ⅱ	岩手県立総合教育センター	清川 ひとみ
令和6年11月14日	令和6年度矢巾町要保護児童対策地域協議会	矢巾町保健福祉交流センター	佐々木 裕美
令和6年11月14日	令和6年度保育所等交通安全講習会	矢巾町役場	笹森 吉子
令和6年11月25日	幼児児童の運動遊び研修	岩手県営武道館	佐々木 博也
令和6年12月19日	令和6年度 岩手県幼児教育フォーラム研修会	トーサイクラシックホール 岩手(岩手県民会館)	泡淵 彩花

2024年度 事業報告書

こずかたケアプランセンター

2024年度 こずかたケアプランセンター実績報告

総 括

年間のケアプラン数は昨年度より27件減の1980件、月平均165件であった。年度は月平均170件を目指したい。割合としては矢巾町が91.5%を占めている。また、要介護認定調査は年間119件であった。岩手県介護支援専門員実務研修の実習生1名と、今年度から岩手医大付属看護学部3年生の実習生を10月より、2月まで11名を受け入れ、自分たちも大変勉強になった。他研修内容につきましては、ごらんのとおりとなります。新型コロナウイルス感染は徐々に減少傾向にはあるが、インフルエンザ等の感染症も増加しサービス利用に影響することもあった。今後も感染症対策は徹底するとともに利用者にとって効率的かつ有効的なケアプランを提供できるよう、ネットワークの強化、情報の共有、外部研修への参加を増やし、地域に信頼される事業所づくりを目指していく。

1. 2024年度 介護保険認定調査委託受理件数（2023年4月～2024年3月）

対象者の区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
矢 巾 町・在宅	10	11	7	10	9	8	9	9	10	9	9	8	109	90.0%
他市町村・病院、施設	1	1	1	0	0	1	1	1	2	0	1	1	10	10.0%
合計	11	12	8	10	9	9	10	10	12	9	10	9	119	100.0%

* 認定調査は月平均10件と昨年と比べほぼ同率。

2. 月別ケアプラン計画作成数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン請求件数	152	147	148	147	147	153	154	152	154	155	150	145	1,804
介護予防プラン件数	10	10	12	15	16	16	19	15	17	16	15	15	176
合 計	162	157	160	162	163	169	173	167	171	171	165	160	1,980
(うち新規件数)	4	0	10	7	4	7	7	7	9	4	5	6	70

* 新規件数は、月平均5.8件であり、ケアマネ一人当たり月33件であった。
年度後半は予防のプランが多かった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
矢巾町	137	134	134	132	133	137	139	139	141	140	137	134	1,814	91.5%
盛岡市	4	3	5	6	6	6	6	5	5	7	6	5	64	3.3%
紫波町	9	9	8	7	8	9	8	8	8	7	6	6	93	4.7%
他市町村	2	1	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	9	0.5%
合計	152	147	148	147	147	153	154	152	154	155	150	145	1,980	100.0%

2024年度市町村別 矢巾町…1814件 盛岡市…64件 紫波町…93件 その他…9 件

2024年度 居宅支援事業所年間相談実績報告

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	1	新規相談	9	19	14	10	7	10	13	16	14	16	19	15	162
	2	継続相談	229	240	208	227	211	207	242	235	236	226	196	226	2,683
		合 計	238	259	222	237	218	217	255	251	250	242	215	241	2,845
相談方法	1	来所	11	22	7	15	9	11	15	19	19	12	16	19	175
	2	電話	39	54	45	35	28	25	55	33	34	43	32	44	467
	3	訪問	184	181	170	186	165	181	179	193	186	183	166	164	2,138
	4	その他	4	2	0	6	16	0	6	6	6	9	1	9	65
	5	(うち休日・時間外対応)	4	2	0	0	14	0	2	2	5	1	0	5	35
		合 計	238	259	222	242	218	217	255	251	245	247	215	241	2,845
相談者別件数	1	本人	41	31	24	21	25	29	43	33	33	41	32	43	396
	2	家族	83	71	48	61	62	51	68	65	68	55	63	81	776
	3	本人・家族・関係者等	114	156	147	152	128	133	138	149	146	141	118	117	1,639
	4	関係機関(包括・病院・施設・居宅等より)	0	1	2	1	3	3	6	4	3	5	2	0	30
	5	その他(民生委員等)	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4
		合 計	238	259	222	237	218	217	255	251	250	242	215	241	2,845
相談内容	1	介護に関する相談	2	6	7	3	4	10	3	5	5	2	4	8	59
	2	医療に関する相談	1	5	9	3	4	4	11	3	10	7	2	8	67
	3	入院・入所/退院・退所に関する相談	20	13	14	11	14	13	13	21	14	8	0	11	152
	1	入院・入所に関する相談	2	6	7	4	4	2	6	13	7	2	10	7	70
	2	退院・退所後に関する相談	12	5	5	4	5	7	4	5	5	3	5	4	64
	3	退院・退所に係る調整会議・家屋訪問同行等	6	2	2	3	5	4	3	3	2	3	5	0	38
	4	介護保険に関する相談	189	193	186	192	178	176	205	207	200	200	2	193	2,121
	1	新規ケアプランの相談	6	11	11	2	3	5	7	13	5	6	185	7	261
	2	継続ケアプランの相談	140	134	133	145	138	134	155	151	148	141	10	135	1,564
	3	介護サービス利用に関する相談	43	48	42	45	37	37	43	43	47	53	130	51	619
	1	訪問・通所サービス利用日調整	21	48	18	14	9	10	7	7	13	20	45	14	226
	2	短期入所サービス利用相談	10	7	2	3	10	6	5	12	4	4	9	3	75
	3	担当者会議、退院・退所前カンファレンス、家屋訪問等	11	12	15	21	7	15	15	18	12	16	5	12	159
	4	その他のサービス	1	25	7	7	11	6	16	6	18	13	15	22	147
	5	要介護認定及び更新手続きに関する相談	9	4	7	8	9	9	7	8	6	6	16	9	98
	6	要介護認定調査	6	5	7	7	6	8	8	9	8	11	2	9	86
	7	施設入所に関わる相談	8	16	3	0	3	3	2	1	3	8	9	4	60
	8	福祉用具に関する相談	6	0	5	3	7	5	7	8	2	8	0	5	56
	9	住宅改修に関する相談	0	7	0	4	0	0	0	0	1	1	5	1	19
	10	状況把握	16	45	31	30	21	25	29	27	41	38	25	23	351
	11	高齢者福祉サービスに関わる相談	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	12	権利擁護に関する相談	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	13	苦情に関する事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14	その他	1	3	7	5	8	7	19	19	8	6	15	19	0
		合 計	259	288	270	269	251	251	304	302	294	295	257	283	6,297
代行申請	1	要介護認定・更新申請	19	15	11	9	11	11	12	12	9	11	14	11	145
	2	新規居宅サービス計画作成依頼申請	3	3	9	7	2	7	8	5	4	6	3	5	62
	3	福祉用具購入費支給、住宅改修費支給申請	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	4	その他の申請	0	1	0	1	0	6	2	3	1	2	2	0	18
		合 計	22	19	20	17	13	24	22	21	14	19	19	16	226
機関別連絡件数	1	各市町村の介護保険課等	4	0	6	5	2	2	1	3	2	2	2	1	30
	2	地域包括支援センター	0	4	1	5	0	3	5	0	1	0	1	0	20
	3	医療機関	9	8	10	16	11	15	28	24	7	16	17	19	180
	4	施設関係	8	8	4	4	8	12	5	11	7	11	7	13	180
	5	居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	4
	6	サービス提供事業所	128	111	130	113	97	121	132	128	110	118	111	111	1,410
	7	その他(研修・会議等含)	11	7	13	24	15	10	17	9	15	15	8	10	154
		合 計	160	138	164	167	133	163	190	175	143	162	146	155	1,978

矢巾町等ケアマネ事業所・サービス事業所合同連絡会

	月日	曜日	時 間	場 所	参加者
1	4月17日	水	14:00～	さわやかハウス	2名
2	5月15日	月	14:00～	〃	〃
3	6月17日	水	14:00～	〃	〃
4	7月10日	水	14:00～	〃	〃
5	9月25日	木	14:00～	〃	〃
6	10月17日	火	14:00～	〃	〃
7	11月19日	水	14:00～	〃	〃
8	12月18日	水	14:00～	〃	〃
9	1月22日	水	14:00～	〃	〃
10	2月26日	水	14:00～	〃	〃

令和6年度 矢巾町ケアマネ連絡会（やはマネカフェ）

	月日	曜日	場所	内容	参加者
1	4月11日	水	えんじょいセンター(13:30～)	介護シューズの選定方法など	2名
2	6月13日	木	〃	薬の正しい飲み方	〃
3	8月8日	木	〃	笑顔を引き出すレクリエーション	〃
4	10月10日	木	〃	接遇の5つの基本	4名
5	12月12日	木	〃	クリスマス会	5名
6	2月13日	木	〃	読書のススメ	2名
7					
8					
9					
10					
11	5月1日	水	ケアセンター南昌	役員会	三上(副会長)
12	6月24日	月	〃	事例検討会打ち合わせ会	〃
13	7月4日	木	〃	〃	〃
14	1月14日	火	〃	〃	〃

2024年度出前講座

日時	曜日	場所	講師	内容	参加人数
10月4日	木	西徳田1区公民館	三上	介護保険と住宅改修	35
2024年度職員研修会(勉強会)状況					
4月19日	金	個人情報保護・倫理・法令順守・認知症	角掛	三上・角掛・佐々木・高橋・三上真	職員 5
5月17日	金	認定調査について情報交換	高橋	〃	〃 5
6月21日	金	支援経過のかきかたのポイント	佐々木	〃	〃 5
7月19日	金	熱中症予防について	高橋	〃	〃 5
8月23日	金	親指を刺激すると脳がたちまち若返り	角掛	〃	〃 5
9月20日	金	食事について(アメリカのマクガパン)	佐々木	〃	〃 5
10月17日	木	事例検討会について	高橋	〃	〃 5
11月15日	金	根拠からわかる介護技術	角掛	〃	〃 5
12月20日	金	笑いの驚くべき健康効果、散歩のメリット	佐々木	〃	〃 5
1月17日	金	権利擁護・虐待防止・身体拘束	高橋	三上・角掛・佐々木・高橋	〃 4
2月21日	金	身元引受人・身元保証人・連帯保証人	角掛	三上・角掛・佐々木・高橋・三上真	〃 5
3月21日	金	説明力について	佐々木・三上真	〃	〃 5

毎週火曜日 8:30～ 事業所内利用者等情報共有会議（こずかたケアプランセンター）
 毎月第1火曜日 10:30～ 敬愛会経営戦略会議並びに各部署会議（志和荘）
 毎月第1・3・5水曜日 12:00～ 理事長との業務打ち合わせ会議（志和荘）
 毎月第1金曜日 13:30～ ケアセンター南昌事業運営会議（ケアセンター南昌）

矢巾町主任介護支援専門員意見交換会			
開催日	時間	場 所	参加者
6月17日	15:00	さわやかハウス	高橋・三上
10月17日	〃	〃	〃
1月22日	〃	〃	高橋
3月19日	〃	〃	高橋・三上

2024年度 実習生受け入れ状況

受入日	依頼先	受け入れ人数	
10月22日 ～10月24日	岩手医科大学看護学部 3年生	2名	
11月19日 ～ 11月21日	〃	2名	
12月10日 ～ 12月12日	〃	2名	
1月15日 ～ 1月16日	〃	2名	
2月15日 ～ 2月16日	〃	3名	
10月22日	盛岡大学付属高等学校 2年生	1名	

〈 2024年度 帰厚堂・敬愛会法人間連携会議:奇数月開催 〉

開催日(11:00～ZOOM会議)

5月31日 1月31日
7月26日 3月21日
9月27日
11月29日

ワーキング会(16:00～ZOOM会議)

5月27日 1月27日
7月22日 3月17日
9月24日
11月25日

〈 2024年度 実習生の受入実績 〉

【岩手県介護支援専門員実務研修実習生】

受け入れ期間	人数	依頼先
令和7年2月12日～14日	1名	公益財団法人いきいき岩手支援財団

2024年度 事業報告書

矢巾町地域包括支援センター

指定介護予防支援事業所

認知症施策総合推進事業

認知症初期集中支援事業

チームオレンジコーディネーター事業

生活支援体制整備事業

矢巾町地域包括支援センター2024(令和6年)度事業報告

<総括>

- ① 複数の課題ある家族への支援や生活困窮への支援が増加しています。
- ② 独居・老夫婦世帯、身寄りのない高齢者の生活問題相談が増え、対応検討が必要です。特に身寄りのない人への支援をどうするか。生活支援サービス、身元保証、死後事務の3点セットで早期に支援体制の整備に取りかかる必要があります。
- ③ ②と関連し、将来的な支援としての成年後見制度権利擁護の周知と充実が課題です。
- ④ 予防的相談が増加し、手遅れ支援にならない状況が広がっています。そのため地域包括支援センターのチラシを作成し早期相談を強化しました。
- ⑤ リアクト(通所型サービス C: 短期集中予防サービス)の利用対象者の確保が課題です。
- ⑥ 超高齢化と人口減少への対応をどうするか、をみんなで考えなければならないと思われます。その視点で介護予防と人材確保、地域のネットワークづくりを推進しなければなりません。

総合相談関係

1. 相談業務状況等

<相談件数>

- ・ 相談件数は 2298 件
 - ・ 相談内容件数は 5148 件
- 総合相談関係 1185 件、介護予防関係 911 件、権利擁護関係 252 件、ケアマネジメント支援関係 184 件、認知症事業関係 119 件。
- ・ インフォーマルサービス、福祉用具購入、医療機関との連携（受診、入退院）、総合事業、生活困窮・低所得者、独居、精神保健、ボランティア活動、認知症の相談が目立ちました。

2. 運転免許証自主返納者：2 人

- ・ 高齢世帯 2 人（男性 2 人）

3. 行方不明者対応：6 件

- ① 5 月：60 代男性、要介護 2、アルツハイマー型認知症、通所介護利用）、独居。9 時ころ近くに住む長男へ「墓参りに行く」と連絡。帰宅の連絡なし。16 時ころ盛岡市内スーパー敷地内で同市内地域包括支援センター職員が発見した。
- ② 9 月：60 代女性、介護保険未申請、三人世帯。7 時ころ「昨夜 11 時ころ自転車でコンビニに行く」と出ていき帰ってこない」と警察に捜査願いを提出。10 時ころ町内の路上で転倒していたところを地域住民が発見した。病院へ緊急搬送、上腕部打撲の診断。
- ③ 10 月：60 歳代・男性、要介護 1、介護サービス拒否、三人世帯。6:30 ころ外出。11:00 ころ JR 矢幅駅で発見。本人は実家（宮古市）に帰ろうとしていた。SOS ネットワーク登録支援を行った。
- ④ 10 月：60 歳代・男性、要介護 1、通所介護週 2 回利用、二人世帯。12:30 ころ外出。翌日の早朝に町内の病院敷地内で発見。施設入所の検討を警察から提案される。

- ⑤ 10月:60歳代・女性、9月と同じケース。8:00ころ自転車で外出。翌日の20:00ころ紫波町内発見。意識もうろうし吐き気あり、病院へ救急搬送となった。
- ⑥ 12月:10月の②と同じ高齢者。11:00ころ家族と車で外出し、家族が用足しする間に見えなくなる。13:00ころ湯沢団地内で発見。今後の支援について検討。

4. 高齢者虐待・消費者被害関係

・相談件数19件（前年度16件）実ケース9件（前年度4件）※1件は消費者被害）。

- ① 4月:前年度3月からの継続支援ケース。本人（70代女性、介護保険非該当）からの相談で警察経由。同居の息子から度々身体的虐待。分離して本人町外の有料ホーム入所。住基ブロック対応。
- ② 6月:ケアマネジャーからの相談。本人（70代女性、要介護4）へ同居息子（50代、精神障害あり）からの経済的虐待の疑い。息子は過去に2度自己破産。関係支援機関、事業所で状況観察を継続。
- ③ 7月:ヘルパーからの相談。本人（70代女性、要介護5）同居の娘から身体的虐待。本人からヘルパーへ「娘に叩かれた」と。事実確認の情報収集を行う。
- ④ 7月:本人からの相談。本人（70代女性、介護保険非該当、同居）。本人からセンター職員へ「電話でしつこく何回も商品購入を迫られて困っている」と。着品拒否の設定支援を行い状況観察継続。
- ⑤ 8月:警察からの相談。本人（80代女性、要支援2）へ夫（80代、要介護1、認知症あり）からの身体的虐待。息子夫婦と同居。息子から警察へ「父親がエアコンのリモコンで母親をたたいた。対応をお願いしたい」。健康長寿課と情報共有し夫の認知症状への医学的管理を徹底。本人、夫それぞれにケアマネジャーがいることから、状況報告し支援継続をお願いした。
- ⑥ 9月:親戚からの相談。本人（80代女性、要介護2、独居）へ本人の金銭管理をしている親戚からの経済的虐待の疑い。本人から「必要以上にお金がなくなっている」と。親族間相談も必要となるため弁護士無料相談を紹介。関係支援機関と情報共有し見守り支援継続。
- ⑦ 10月:サービス事業所からの相談。息子から暴言などの心理的虐待。本人（70歳代女性、要介護1）、50歳代息子との二世帯。本人がサービス事業所へ「息子が怒鳴って怖い。助けてくれ」と訴える。状況確認で本人は認知症進行、息子へ対応方法のアドバイスと医療機関への受診をしていただく。その後落ち着いて生活している。
- ⑧ 2月:ケアマネ事業所からの相談。夫から妻への身体的虐待。
 - ・本人（70歳代、要介護1）、認知症・パーキンソン病。二世帯。通所サービスの迎え時に、口から血を流している本人を職員が発見。担当ケアマネジャーが夫に事情を聞くと「言うことを聞かないのでカッとなり叩いてしまった」と。
 - ・介護負担軽減のためケアプランの見直し（ショート利用等）で状況確認することとする。
- ⑨ 2月:長男・親戚からの相談。長男から母親への身体的虐待。本人（60歳代、非該当）、精神疾患あり。要介護の夫と長男の三世帯。長男（40歳代・無職）から「母親を叩いてしまった」と訴えがあり、親戚も心配した。地域ケア会議を開催し、家族支援について検討した。

5. 主な相談内容

◆4月(認知症関係)◆

【Q】

79 歳、男性

昨年 7 月から町内のアパートで一人暮らしを始めた。

妻(85 歳、要介護 1)は盛岡市の有料老人ホームに入居中。夫婦の間に子供はいない。

今年 1 月本人が矢巾交番に行き、室内に勝手に入られ本やコップを盗まれたりいじられたりするとの訴えがあった。交番では鍵を交換するよう助言した。不動産屋を通して鍵を交換したが、その後また部屋に入られていると交番に訴えた。交番から包括に認知症の可能性があるのではないかと支援の要請があった。

アパートの保証人になっている姉に連絡を入れ確認。今までは認知症の症状に気付いたことはないが、物が無くなったことを人のせいにすることが度々あったとのこと。本人を説得する自信がない…どのようにして専門医を受診させたらよいだろうか。

【A】

掛かり付け医に相談し専門医を紹介してもらうことを検討。以前から姉に対しては傲慢な態度をとる事があったため、医師からの勧めであれば納得すると考えた。また本人は医師免許がありプライドが高いので、総合病院が良いのではないかとということになり、認知症疾患医療センターに相談したところ、内丸メディカルセンターのメモリークリニックを受診するよう指示があった。掛かり付け医から本人に説明があり納得され受診が決まった。

4 月 10 日精密検査の結果、アルツハイマー型認知症・脳梗塞の診断が付き投薬が開始された。運転免許を持ち普段自家用車を運転しているので、免許返納と自家用車の処分について検討予定である。

◆5月(介護予防関係)◆

【Q】

N 氏(70 代後半 女性 介護認定未申請)

友人の T 氏(女性)より電話。

近所の友人がどんどん体調が悪くなっており、歩くこともままならなくなっている。これからどうしたらいいのか相談したいが、本人が歩けないのでどうしたらいいか？話を聞きに来てもらえないだろうか？

【A】

当事者本人の了承を得て、本人の家から連絡している、との事で本人の状態の確認と今後の意向確認で訪問した。

本人の状態を確認、疾患の為全身の筋力低下と痩せが著明、意識状態・認知機能の低下はあまり見られていない。同居家族は夫、長男は結婚して別世帯となっている。本人としては「食事でも食べる気がしないし、歩くのも大変。何だかいろんな事が億劫で面倒くさくなってきた」と気持ちの落ち込みを口にしていた。介護サービスの訪問リハビリや通所リハビリの説明を行い、体調と歩行能力の回復を考えてみてはどうか？と説明し、本人も納得した上で介護認定代行することとした。認定が決まったら、具体的にサービスの利用を検討することとした。

◆6月(ケアマネ支援関係)◆

【Q】

居宅支援事業所のケアマネジャーから相談がある。

地域のスーパーの店員から以下の相談を受けたが居宅支援事業所では対応が難しいため包括に相談した。

店舗にほぼ毎日のように来る 30 代の男性客がいる。足を引きずって歩いており、靴はボロボロでガムテープを巻いていて取れそうになると店員に頼んでガムテープを巻いている。動作が緩慢で会計時にお金を取り出すのにも時間がかかるため店員が手伝うこともある。ほぼ毎日来てカップラーメンをかうがお湯を入れるのも店員に頼む。手紙の代筆を頼まれたこともある。

以上のようなお客様が来たときにお手伝いしようという気持ちはあるが、どのように対応すればよいのか困る場合があるので対応策を教えてください。

【A】

福祉課と障害支援の担当部署に情報提供を行い、対応を協議した結果、福祉課職員が初動対応を行い、対象者がスーパーに来店した際にスーパーから福祉課に連絡を入れてもらい、福祉課職員が状況確認を行うこととした。

必要時には障害支援の担当部署、矢巾町包括支援センターの多職種で連携し対応する。

◆7月(介護予防関係)◆

【Q】

Mさん 70 代後半、男性、独居世帯

令和6年度高齢者訪問の一環で、包括支援センターから本人へ連絡を入れた。包括としては、一般介護予防事業の介護予防把握事業で対応。

Mさんは、沿岸部出身。東日本大震災で被災したことと、当時健在であった妻の病気治療を目的として震災後に矢巾町に転入されていた。妻は約7年前に他界し、K市のお寺に納骨されている。子どもは娘が二人いて、長女(独身)は看護師をしており、何かの際は相談や連絡を取り合っている。先日、自宅にエアコンを設置するため、電気屋と一緒に購入に立ち会ってくれたが、購入したのは冷風機である。エアコンとは違い、自分で水を足したりする必要がある。使い方がいまいちわからず、現在利用はしていない。

次女はF県に居住して10代後半の娘がいる。元々結婚していたがその後離婚し、生活が苦しい様子で、2年前にMさんが生活資金を貸した。10代の孫に会ったのは孫が3歳の頃であり、現在、次女と孫がどのような生活をしているかもわからない。

現在、Mさんは体調は良くて元気にしているが、近くに身寄りがいないため様々な不安はあるようだ。自分が病気になった時や、亡くなった後のことなど、死後どのような形になるのかも決まっていない。これからの生活で自分のできることを教えてほしいとのことだった。

【A】

本人の状態は、ADL、IADLともに自立、認知機能も全く支障はない。しかし、近くに頼れる親族がいないことと、連絡が取れていない次女家族のことも気になっている。現在、循環器の個人クリニックに通院し、持病は内服治療で安定している。身の回りのことは一人で出来ているが、社会交流等がない状況。相談を受けていて気になっ

たのが、Mさんが話す声量の弱さと滑舌の悪さであった。

社会交流が希薄していることも一つの要因で、会話やコミュニケーションの機会の減少から嚥下機能低下の恐れも感じられた。矢巾町内で行っている高齢者向けの活動を紹介し、その中でも男性高齢者が複数参加している「えんじょいセンター」の「おれんじデー」などを紹介した。Mさんは、現段階では興味がない様子だったが、近くを通ったら覗いてみると話していた。また、これから暑くなる時期なので、小まめな水分補給や室温の管理などにも気をつけていただくことを提案した。

◆8月(高齢者総合相談)◆

【Q】

矢巾町高齢者世帯訪問の対象者。訪問実施した事例。

80歳 男性 独身 独居

前立腺癌の既往がある。治療が終わりしばらくは医師の指示で定期検査を受けていたが自己判断で終了した。腰痛はあるが未受診。湿布等で手当てをしている。

日常生活で困ることは今のところはない。

15歳から60歳まで東京で生活。非正規でボーイ等の仕事をしていた。その後実家のある矢巾に戻り、シルバー人材センターに在籍し町内の老人施設や障がい者施設で介護の仕事をした。介護の仕事は体力的に厳しくなり退職。現在は週に2～3回、近所の工場の清掃のアルバイトをしている。東京にいた頃年金を掛けていなかった。わずかに納めた時期もあるが

社会福祉事務所に問い合わせたら年金の支給がないことがわかった。現在、貯金を取り崩して生活しているが間もなく底を尽く。

町内と近隣市に父親違いの妹が二人いるが、親から受け継いだ土地家屋の財産分与を求められている。何処に相談したら良いか思案中である。

【A】

「いのち支えあうやはば 困りごと相談先案内」 矢巾社協「くらしの専門相談所」

のリーフレットを用いて紹介

後日、予約をして相談に出向くとのことだった。

◆9月(総合相談)◆

【Q】

Sさん 70代前半、男性、三世帯(本人、妻、長女)

初回相談で本人の妻が包括窓口来所。2年前の冬、県外の神経内科でアルツハイマー型認知症と診断される。本人の祖父、父もアルツハイマー型認知症だった。現在は、県内の病院の神経内科に紹介されて定期通院している。

本人は県内の出身。高校卒業後、県外の大学に進学し医師となる。長い間大学病院で外科医を務めた。本人の祖父、父も医者で外科医。実家はクリニックを営み、本人も数年院長を務めたが、親族間のトラブル等が理由で閉院した。本人は休みの日でも病院に様子を見に行くほど、かなり仕事に熱心だった。

2年前の冬、車の運転中に道を間違え、自分がどこにいるかもわからなくなった。その後、関係者から認知症の疑いを指摘され、外来受診を勧められる。妻の知人医師に相談して診てもらったところ、アルツハイマー型認知

症であることが判明した。

現在の困りごとは、不眠症で内服された安定剤で安眠しているが、服薬すると次の日は夕方まで寝ている。食事は夕食の一食のみで、体重は2年間で 20kg 減少し、内服薬の管理や短期記憶、見当識にも支障があり、「今日は仕事に行く日か？」と何度も妻に聞いている。妻から「これからどうしたらいいか」と相談された。

【A】

介護保険利用申請をし、要介護2の認定がついた。主治医からは現在の閉じこもり状態の改善のため外出機会を作ることを勧められたが、解決策が見つからない。妻としても「出来ればどこかに出かける機会を作ってあげたい。」と思っているようだ。

本人は医師としての気持ちが強く残っており、他の職種からの指示や誘導を素直に受け入れられないため、介護保険サービス利用には時間がかかるようだ。現在、唯一活動的になるのが、「仕事に行く」という時、いつも妻に対して「今日は仕事？」などと聞いてくる。出来れば、その意欲を活用できないか妻と検討した。

今回、本人の妻と検討した方法が、本人が元々していた医師という責任感から外出に繋げる方法。例えば、おれんじデー等に妻と来所してもらい、他の参加者とコミュニケーションを取りながら、問診医という形で参加してもらう。妻もその方法を試してみたいとのことで、おれんじデーのスタッフの協力を得ながら検討していくこととした。

◆10月(総合相談)◆

【Q】

矢巾町内にある住宅型有料老人ホーム「R・P」運営会社社長より電話にてケアマネの紹介依頼あり。

「K市内にある病院に現在入院中。もともと近隣のH市に住んでおり、脊柱管狭窄症のオペを行い、バルーンカテーテルの留置尾あるも自己管理できず。独居のため家には戻れないことから有料老人ホームへ入所予定となっている男性(60 代後半)の件で、介護 3 の認定を受けているのでケアマネを探している。どなたかいいケアマネを紹介してほしい。バルーンカテーテルが入っており、自分で対応することが難しい為訪問看護と訪問診療を調整中。H市から生活保護受している。10 月 30 日に退院してそのまま入所となる予定」との事。

➡矢巾町包括支援センターにて担当のケアマネの選定の支援・生活保護に関する申請などの支援を行う事とした。

【A】

入院中の病院と、担当地域包括支援センターからの情報を頂き「双極性障害」の診断を受けていることを確認。成年後見制度の申し立てを行う予定もある事から、経験のあるケアマネージャーのほうが良いのではないかと提案。「R・P」の社長も細かい点が分からないので、いろいろとこちらも聞く事が出来る人だとありがたい、との事。

➡ケアマネージャーの選定の支援と、H市包括へ成年後見制度の申し立てに関する情報や

生活保護に関する情報を頂くこととし、新しく担当してくれるケアマネと役割分担をして対応することとした。

① H市包括へ成年後見制度の申し立てに関する進捗の確認を行う。「首長申し立てで 12 月ころには申し立てができる所まで整っているが、受任予定者がそちら(矢巾町)まで行く事が出来ない、との事なので受任候補者は不在になる、とのこと。

② H市役所福祉課へ連絡し、生活保護事務の引継ぎについて確認を行う。盛岡広域振興局保健福祉環境部保護課の担当ケースワーカーへ転入についての方向を行う。生活保護に関する転入に関する手続きについては、初動部分についてのみ包括で担当し、ケアマネージメント担当者と役割分担を行い、追って報告することとした。

③ ケアマネについてはM市内にあるS居宅で受けてくれることとなり、入所と同時に必要となる福祉用具・訪問看護・訪問診療の手配を依頼し、調整して頂くこととした。

➡10月30日転入日、矢巾町役場福祉課にて生活保護申請に関する手続きを行う。荷物の中から消費者金融や入院時に使用した病衣などのレンタルセットの会社からの請求書や督促状が複数確認され、首長申し立てを行い、受任者が決まったところで破産申し立ての申し立ても行うよう依頼したほうが良いのではないかと提案。福祉課の担当者からも同様の意見があり、今後破産についての相談も受任者決定後行う事となった。※H市に自宅がある為同時免責にはならず、自宅等の処分を行ってからという事になりそう、との事。

◆11月(総合相談)◆

【Q】

病院の医師からの相談。受診中の患者で問診中に「死にたい」という発言があり、気になっている。今、家族も同席しているので本人、家族から話を聞いてもらいたい。

【A】

医療機関を訪問し、医師、本人、家族から話を聞く。家族からの話を聞くと「日常的に「本人は死にたい」ということがある。介護度もついておらず、自立した生活をしており元気そうに見えるようだが心配だ」と。

話好きとのことで本人へはデイサービス等を紹介するが本人は「利用したくない」と返答。家族は孤立が心配だと不安を隠せない様子。本人からは「特に嫌なことがあるから死にたいと思うわけではない」とのこと。

家族の関係性は悪くはないようなので、心配ごとが増えないように気になったときは本人の話に耳を傾け日常生活の見守りをしてもらうように家族に伝える。本人、家族ともに納得し当分の間は家族内の会話で様子を見

生活の見守りをしてもらうように家族に伝える。本人、家族ともに納得し当分の間は家族内の会話で様子を見ることにしていただく。

主治医に上記内容を報告し必要時は包括センターに早めに情報提供してもらうことと

◆12月(認知症関係)

【Q】

Kさん、87歳 男性 軽度認知症

一人娘とその夫は亡くなり、30歳の女孫と二人暮らし。

今年3月、要支援1の認定が付いた。

認知症が進行しないよう通所系のサービスを利用させたいと孫からの相談で関わりがスタート。

【A】

孫は同敷地内別宅に住んでいたが、夏頃料金を支払わず電気水道が止まり入浴ができなくなっていた。孫が近

所の S さんに相談。その方が孫と K さんの間を取り持ち母屋の 2 階に住むようになった。孫は仕事を退職し収入がなくなり光熱費や水道費が支払えなくなっていた。以前から、孫は仕事を辞めて収入がなくなると K さんに生活費を出してもらっていたようだ。孫は直接 K さんに話すことができず、S さんを頼り生活できるよう取り図らってもらった。

母屋に移るまでの約 2 か月間、孫は別宅に閉じこもり誰が訪ねても応対せず、携帯電話も料金未払いで通じなかった。包括担当者は孫に手紙を書き、生活困窮や就職の相談先として福祉課の紹介を行っていたが応答がなかった。孫が K さんの認知症外来の同行をしなかったため相談員が同行することにもなった。K さんの兄弟はみな関東方面に居て近くに頼れる親戚がいないとの情報もあった。

孫は現在も就職せず K さんを頼って生活しており、K さんのキーパーソンとしても不安定な状況が続いている。地区民生委員も以前から状況は知っており、心配していたとのことだった。

K さんの今後の介護のことや孫の経済的自立のことで、関係者と相談を進めているところである。

◆1月(総合相談)◆

【Q】

80 代男性、介護認定申請をしたが認定結果が出ていない。長男夫婦と 3 人暮らし。別居している 50 代の次男からの相談。父と兄の仲が悪いため父を施設に入所させたい。本人の希望でもある。兄は病気により体調が悪く負担をかけられない。父は厚生年金をもらっている。年金内で入れる施設を探してほしい。失禁が目立ちトイレを汚染する。軽度の認知症状があり直近の話を忘れる。近所の店に買い物に行くと迷って自宅に帰るのに時間がかかるため困っている。身元引受人や入所申し込み等の手続きについては私が協力する。

【A】

介護度が出ていない状態では入所施設の選定が難しい。早めに入所したいのであれば小規模多機能施設、有料老人ホームの入所だと融通が利きやすいと伝え、矢巾町内、矢巾町近郊の数カ所の施設を紹介する。次男が直接希望施設に確認したところ認定結果が要介護で出ることを前提に入所可能といわれたとのこと。包括職員が施設に出向いて現状を報告した。本人、次男ともに早期入所を希望されたため、施設に相談したところ、介護認定の結果が出る前に利用する時は利用料の一部を実費で支払うことで入所可能であることを確認できた。それにより本人、次男の希望により早い段階で入所することができた。ところが後日、介護認定結果が要介護 2 となったため、居宅介護支援事業所を紹介し、次男が希望した事業所に情報提供しケアマネジメントを依頼した。

◆2月(総合相談)◆

【Q】

80 代女性 介護認定申請中 腰部脊柱管狭窄症にて入院中 そろそろ退院を検討しているが、透析を受けているので自宅退院後のサービスはどういった物が利用できるのか？

もし家族が「もう家で看れない」と施設入所を希望された場合は、近隣に透析を受けている利用者が入所できる施設はあるのか？(病院 退院支援看護師)

【A】

基本的には透析を受けている方でも、何かしらの認定が下りる事で介護保険のサービスは利用が出来るが、認定の内容によって回数や利用料金が異なってくる。自宅での入浴等が

困難であることが予想されるのであれば、通所系のサービスを利用する事も可能なのでご家族の介護負担も軽減できる。

入所の施設については、特別養護老人ホームや介護老人保健施設等の介護保険下の施設では難しい。有料老人ホームで透析クリニックが送迎を行っている所もあるが、数は多くない。家族の介護休養という事であれば、地域包括ケア病棟と透析を有している病院に相談することは可能なので、状況によって検討していく必要はあると考える。透析を有している病院で隣に有料老人ホームを併設している所はこちらもあまり情報を持っていないが、宮城県の大崎市にある有料老人ホームの情報のみになる。

➡ご家族がご本人が自宅退院に向けて、どのような体制を組めるかを確認して、ケアマネジメントの依頼を行う事としたい、との事。

◆3月(認知症関係)◆

【Q】

Kさん 80代後半、女性、二人世帯(本人、長女)

本人の状態について、行ったことをすぐに忘れる。例えば、長女の勤務について、早番、遅番等があるが何度か同じことを聞いてくる。昨年5月に同居していた叔父が脳出血で倒れ、現在入院中。その頃から本人の話相手が居なくなり、農家が出来る環境が難しくなり、活動量が低下している。耳も遠くなり、歩行状態も膝に手をつきながら歩いている。叔父が入院する前までは比較的調理等もしていたが、入院後は調理も全くなりなくなった。洗濯や掃除等も長女が行っている。

食事の準備は長女が行い、作り置きしている。電子レンジ等も使えないため、冷たいものを食べている。

現在の困りごとは、日中独居で見守りできない状態にある。本人は一人で移動して転倒を繰り返し、尿失禁等もあるがリハビリパンツの利用拒否している。そのため、長女が仕事から帰ってくると汚れた下着のまま横になっており、入浴を促しても拒否をされてしまう状況にある。

【A】

今回の相談を受け、介護保険利用申請をして通所介護等の介護サービスを長女と検討した。しかし、本人は長い間病院通院が出来ていない状況にあった。本人が病院に行くのを嫌がるため、長女が代わりに病院に行き薬のみを処方してもらっていた。ここ数カ月で本人は転倒を繰り返し、食欲も低下し、トイレ以外に通う以外は、ほぼ寝たきり状態であった。

本人に病院に行きたくない理由を聞いても明確な回答はなかった。年齢や生年月日を確認すると回答が出来ず、認知機能の低下も感じられた。本人の意思を尊重するのは大切なことだが、この状態が長引けば本人の体調が急変し、日中独居の状態から生命に関わる事態が想定された。長女にも意向を確認すると、病院受診をさせてあげたいとのことだった。

今回、長女と検討した方法が、往診対応してくれる医者を探すことだった。包括からケアマネ連絡票でクリニックに照会を行ったところ、医師から訪問診療を了承してもらうことが出来た。医師の診察を受けられることで、本人の健康状態の観察が出来、要介護認定の利用申請も進めることが出来る。

地域包括ケア(システム)推進関係

1. 地域ケア会議の開催：計 17 回

＜自立支援型地域ケア個別会議＞ 8 回

- ① 4 月：5 月スタートの初回通所型サービス C（リアクト）対象者 8 人を対象に会議開催。
- ② リアクトの利用対象者 8 人を対象に地域ケア個別会議開催。
- ③ 7 月：リアクトの利用対象者 8 人を対象に地域へつなぐ開地域ケア個別会議開催。
- ④ 8 月：9 月スタートの初回通所型サービス C（リアクト）対象者 8 人を対象に会議開催。
- ⑤ 10 月：リアクトの利用対象者 8 人を対象に地域ケア個別会議開催。
- ⑥ 11 月：リアクトの利用対象者 8 人を対象に地域へつなぐ開地域ケア個別会議開催。
- ⑦ 12 月：1 月スタートの初回通所型サービス C（リアクト）対象者 8 人を対象に会議開催。
- ⑧ 3 月：矢巾町通所型サービス C（リアクト）の利用対象者 8 人を対象に地域へつなぐ会議開催。

＜支援困難事例型地域ケア個別会議＞ 9 回

開催日等	検討内容	地域課題のテーマ
① 5月16日 さわやかハウス 出席者 6人	二人世帯。対象者：妻（70代要介護4）夫（80代認知症あり）夫のBPSDへの対応	・情報共有 ・地域住民との連携、・成年後見制度の利用検討
② 6月20日 役場2F 出席者 8名	二人世帯。対象者：母親（80代要介護4）二男（50代精神障害あり）母親の認知症状への対応、二男の病状（がん）への対応、	・金銭管理 ・今後の生活の場について
③ 7月10日 ケアセンター南昌 出席者12人	二人世帯。母親（70代要介護4、長期ショートステイ）息子（50代精神障害、就労中）	・生活の意向確認、・生活費等の金銭確認 ・健康管理等
④ 11月5日 さわやかハウス 前年度からの継続ケース 出席者7人	80歳代の老夫婦世帯。夫は精神科病院入院中。本人が退院するため、その後の支援について検討。	・独居、老夫婦世帯 ・精神障害 ・生活困窮 ・地域自立生活
⑤ 11月21日 ※④の継続。 さわやかハウス 出席者8人。	退院したが夫は寝たきり状態。当面の介護サービス利用支援、生活・経済的支援を具体的に検討。	・複合的生活課題ある家族 ・金銭管理能力 ・居住確保
⑥ 12月26日 ※④⑤と同じケース。 さわやかハウス 出席者9人。	支援の役割分担、生活保護申請。	・複合的生活課題ある家庭 ・身寄りなし状態
⑦ 12月11日 ※④のケース。 矢巾町役場	家族支援。妻入院中、夫無職、子ども中学生。 ・金銭管理、生活支援、医療・健康管理、教育支援について検討。	・複合的生活課題ある家庭
⑧ 1月19日 矢巾町役場 出席者7人。	・独居60歳代男性の今後の支援。家族、生活状況、経済状況等の情報共有と支援方法について。	・身寄りなき高齢者
⑨ 2月3日 ※⑦のケース 矢巾町役場 高齢者虐待相談	・家族支援。息子のストレス解消、介護の夫の介護負担軽減、本人（妻）の精神的支援等を検討。	・精神保健 ・家族支援

2. 総合事業・生活支援体制整備事業関係

- ①矢巾町生活支援コーディネーター定例会出席（月１回）。
- ②農園カフェ「HATARAKU」視察。
- ③矢巾町生活支援事業移動式スーパーに係る会議出席。
- ④矢巾町生活支援協議会出席。

3. 在宅医療・介護連携推進事業関係

- ①紫波郡地域包括ケア推進センター運営調整会議出席（月１回）。
- ②入退院支援・連携研修会出席。
- ③岩手県立中央病院との意見交換会開催（６月、オンライン）。
- ④認知症対応力向上研修出席。
- ⑤ACP 研修会出席。
- ⑥医療介護連携研修会出席。
- ⑦奥州市、北上市の連携事業視察に参加。
- ⑧紫波郡地域包括ケア推進協議会ワーキンググループ会議出席。
- ⑨紫波郡地域包括推進協議会出席。
- ⑩紫波郡地域リハビリテーション研修会開催（２月）。
 - ・高齢者の自動車運転、運転免許返納、地域課題について。

4. ケアマネジメント支援事業関係

- ①ケアマネカフェ開催（４、６、８、１２、２月）
 - ・内容：介護用シューズの選び方、支援拒否への対応、薬の正しい飲み方、本人・家族・事業所の思い、笑顔を引き出すレクリエーション、多職種が救われた瞬間
- ②クロス介護カフェ開催（５、７、９、１１、１、３月）
 - ・内容：高齢者の栄養、食事を考える、人材確保、育成・身体を痛めない古武術介護、障害者施設の見学・制度を学ぶ、福祉経営を学ぶ、メンタルケアを学ぶ
- ③矢巾町内主任介護支援専門員意見交換会（４、９月）
 - ・ピアスーパービジョンについて、地域課題から政策形成につなげるための意見聴取。
- ④矢巾町内ケアマネ事業所と地域密着型サービス事業との合同連絡会開催（１２月）。
- ⑤紫波町「つながる学習会・事例検討会」出席（１２月）。
- ⑥やはマネ会「事例検討会開催
- ⑦矢巾町等ケアマネ・サービス事業所合同連絡会開催（月１回）

4. 災害支援関係

- ①２０２４年２月、岩手県災害派遣福祉チーム（DWAT）のチーム員研修を２人の職員が受講、チーム員として登録された。

多機関・会議等での連携状況

- 矢巾町健康長寿課との打ち合わせ会議出席。
- 矢巾町生活困窮者自立支援調整会議出席。
- 矢巾町「福祉×まちづくり」フォーラム出席。
- 矢巾町秋まつりに「チームオレンジ矢巾」として参加。
- 矢巾町成年後見制度利用促進審議会出席。
- 矢巾町地域福祉活動計画策定委員会出席。
- 矢巾町地域福祉推進審議会出席。
- 矢巾町消費者安全確保地域協議会出席。
- 矢巾町防災会議出席。
- 矢巾町生活支援協議会出席
- 矢巾町障害者自立支援協議会地域生活支援部会出席。
- 矢巾町青少年作文・論文コンクール選考委員会出席。
- 小規模多機能型居宅介護むつき運営推進会議出席。
- グループホーム太陽荘運営推進会議出席。
- 矢巾町南デイサービスセンター運営推進会議出席。
- 盛岡広域成年後見センター地域連携実務者ネットワーク会議出席。
- 盛岡赤十字病院地域支援委員会出席。
- 盛岡地区地域包括・在宅介護支援センター協議会理事会出席。
- 盛岡圏域市町高齢者福祉（介護）・地域包括支援センター連絡会議出席。
- 盛岡圏域医療連携推進会議出席。
- 人＋動物の地域共生社会をめざす会出席。
- 日本司法支援センター岩手地方協議会出席。
- 岩手県地域福祉推進協議会出席。
- いわて保健福祉基金助成審査会出席。
- 岩手県内地域包括支援センター社会福祉士情報交換会出席。
- 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会と岩手県医療ソーシャルワーカー協会との意見交換会出席。
- 岩手県リハビリテーション協議会出席。
- 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会理事会

実習生等の受け入れ： 86人 のべ161名

	教育機関名	人数	人数 (のべ)	総実習 日数	備考
1	岩手医科大学付属病院	15	57	28	
2	岩手県立大学看護学部	6	12	6	
3	岩手保健医療大学看護学部	6	12	6	
4	盛岡医療大学校	29	29	14	
5	盛岡市医師会付属盛岡高等看護学院	21	42	14	
6	その他	9	9	2	医学部7名、社会福祉学部2名
	合 計	86	161	70	

矢巾町認知症施策総合推進事業報告

1. 医療・介護・地域支援サービスの連携を図る事業

①やさしさはばたく認知症支援ネットワーク連絡会

令和6年7月26日（金）15時～16時 さわやかハウス

②ワーキング部会の開催 場所 えんじょいセンター

- ・医療連携・認知症ケア検討部会 令和6年9月24日・令和7年3月13日
- ・わが町つながる支援部会 令和6年9月26日・令和7年3月6日
- ・安心安全おたすけ部会 令和6年9月27日・令和7年3月5日

2. 認知症の人と家族を支援する事業

①認知症相談（平日・休日・夜間）の実施

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
新規	3	7	9	5	10	10	6	6	5	1	4	66件
継続	42	43	33	44	29	25	46	36	45	30	40	413件

② 地域で活躍するボランティアの育成・支援

*おれんじボランティアの活動支援、事務局運営

ボランティア登録数 62 名（女性：58 名 男性：4 名）

1. 生活支援 住民主体型訪問サービス B 2. (家庭での掃除、買い物代行等)							3. 活動回数 316 回 4. 活動人数 のべ 642 人					
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	計
活動回数	30	30	29	24	24	25	32	35	32	29	26	316 回
活動人数	60	62	58	48	48	52	64	76	64	58	52	642 人

③ 矢巾町家族介護者の集い開催 令和 6 年 7 月 25 日（木）13 時～15 時 7 名参加

④ 矢巾町秋祭りへの参加（チームオレンジやはば） 52 名参加

3. 安心と安全を地域で見守るための事業

① 見守り SOS ネットワークの普及・活用

＊「盛岡広域シルバーケア SOS ネットワークシステム」

今年度の新規登録者 12 名

行方不明者の発生件数（警察から協力依頼のあったケース） 5 件

＊認知症初期集中支援チームとの連携ケース 1 件（運転免許証に関わること）

② 地域での見守りボランティアの育成や支援

＊ 矢巾わんわんパトロール隊の事務局運営 登録者数 23 名

4. 認知症に対する理解を深め、意識を高めるための事業

① 矢巾町キャラバン・メイト連絡会の事務局運営

＊ 矢巾町キャラバン・メイト定例会：毎月第 1 木曜日実施 活動メイト数 27 名

② サポーター養成講座の開催状況

＊ 開催回数 13 回 サポーター養成数 627 人

（現在まで）サポーター数 9,656 人 総人口に占める割合 約 36.7%

開催日	対 象	場 所	人 数
R6. 4. 22	マルイチチェックスタッフ	マルイチ本部	23
R6. 4. 23	岩手医大看護学部 1 年生	岩手医大キャンパス	92
R6. 5. 1	岩手医大薬学部 2 年生	岩手医大キャンパス	30
R6. 6. 9	矢巾わんわんパトロール隊	えんじょいセンター	13
R6. 6. 19	矢巾中学校 3 年生	矢巾中学校	118
R6. 6. 28	くらしすた不動産	くらしすた不動産	5
R6. 7. 11	岩手医科大学附属病院職員	岩手医大病院	75
R6. 10. 29	煙山小学校 4 年生	煙山小学校	108

R6. 10. 30	不動小学校 4 年生	不動小学校	26
R6. 11. 19	矢巾東小学校 4 年生	矢巾東小学校	71
R6. 11. 26	Cozy Place	あさあけの園	8
R6. 12. 15	下北行政区住民	下北公民館	30
R6. 12. 19	徳田小学校 4 年生	徳田小学校	28

5. 関係機関との連携・研修会

- * 岩手県 令和 6 年度認知症地域支援推進員養成研修会 講師
令和 6 年 6 月 26 日（水）マリオス
- * 岩手県 令和 6 年度チームオレンジコーディネーター養成研修会 講師
令和 6 年 8 月 9 日（金）10 月 23 日（水）矢巾町公民館
- * 岩手県 令和 6 年度岩手県職員を対象とした認知症サポーター養成講座
令和 6 年 9 月 19 日（木）盛岡地区合同庁舎
- * 花巻市 令和 6 年度花巻地区民生児童委員研修会
令和 6 年 10 月 21 日（月）花巻市文化会館

矢巾町認知症初期集中支援推進事業

①令和 5 年度矢巾町初期集中支援チーム検討委員会

令和 7 年 3 月 24 日（月）16：00～17：00 さわやかハウス

②認知症初期集中支援チーム対応ケース 1 件

チーム員会議の実施 2 回

<ケース概要>

男性 80 歳代

認知症が疑われるが本人に自覚がなく強い拒否があるため、適切な医療と介護につながっていない。家族は運転免許証の返納と仕事の引退を希望しているが、本人に話すと興奮し暴力的になるので対応に苦慮している。

医療 →MSW との連携により専門医受診につながった。

運転免許証 →紫波署・矢巾交番との連携により適切に対応することができた。

矢巾町チームオレンジコーディネーター事業報告

* チームオレンジ活動の推進

* おれんじボランティアフォローアップ講座の開催

2025 年 1 月 30 日（木） 参加者数 23 人

いきいき岩手支援財団 副センター長 玉山公一氏 「コミュニケーションの理解」

* 矢巾町秋祭りへの参加 おばあちゃんのクラフト市

* 高齢者にやさしいお店への手作りオレンジロバの贈呈 25 か所

* 新たなチームオレンジの結成

・ チームオレンジ医大看護 2024 年 8 月 2 日（金）14 時～

矢巾町秋祭りへの参加

・ チームオレンジ岩手医大衛生検査部 2025 年 3 月 9 日（日）13 時半～

カフェあんべ・ピザ作り体験

① おれんじデー（第 1.3 木曜日 第 2.4 水曜日 10:00～12:00 えんじょいセンター）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	計
開催回数	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	43 回
参加人数	43	40	46	56	45	52	56	53	52	51	53	547 人
ボラ人数	15	16	13	18	21	17	16	15	16	12	15	174 人

② 家族介護者の集い 令和 6 年 7 月 25 日 13 時～15 時 参加者 12 人

③ おれんじカフェ（毎月第 2 土曜日 10:00～12:00）

実施回数 10 回 参加者数 14 人 活動ボランティア数 19 人

④ 認知症予防教室（コグニサイズ） 開催回数 8 回 活動ボランティア数 20 人

⑤ えんじょいセンター周辺の花壇整備

⑥ 出前支援 実施回数 49 回 活動ボランティア数 58 名

⑦ チームオレンジに係る研修・視察の受け入れ

・ 岩手県オレンジコーディネーター研修

2024 年 10 月 23 日（水）10:00～15:30 町公民館・えんじょいセンター

・ 視察受け入れ… 花巻市、白老町（北海道）

生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター)

1. 地域資源の開発

③地域に不足するサービスおよび支援の創出

* 広報誌じょい joy の編集・発行 （年 3 回）

* おれんじボランティアによる生活支援サービスの運営

* “ 移動スーパー事業との連携

② サービス及び支援の担い手の養成又は研修の実施

* 認知症サポーター養成講座の実施

開催回数 13回 サポーター数 627人

③ 矢巾町高齢者にやさしいお店との連携支援

* お店独自の取り組みの推進と情報共有により連携
オレンジロバの贈呈

④ ボランティア団体と協働によるクリーン作戦の実施

* 令和6年7月21日（日）

矢巾わんわんパトロール隊、県動物愛護推進ボランティアと協働して町民センター付近
の清掃活動を実施

2. ネットワークの構築

① 矢巾町生活支援協議会

- ・ 第1回 令和6年12月16日（月）15：00～16：00 さわやかハウス
- ・ 第2回 令和7年 3月21日（金）10：00～11：00 //

② 生活支援コーディネーター定例会 毎月1回開催 10回参加

2024 年度 矢巾町等ケアマネ・サービス事業所合同連絡会開催状況

開催日	内容	人数
4 月 17 日	・各事業所・関係機関からのお知らせ ・矢巾町役場健康長寿課 職員紹介 ・各事業所 新職員紹介 ・介護保険情報	36 人
5 月 15 日	・各事業所・関係機関からのお知らせ ・矢巾町役場健康長寿課より第 9 期介護保険計画、・第 2 期成年後見制度基本計画、地域福祉計画、令和 6 年度総合事業について ・介護保険情報	34 人
6 月 17 日	・各事業所・関係機関からのお知らせ ・福祉課より 地域福祉計画について ・意思決定支援について ・介護保険情報 ○矢巾町内主任介護支援専門員意見交換会	34 人
7 月 25 日	・各事業所・関係機関からのお知らせ ・福祉課より 地域福祉計画・障害福祉について ・介護保険情報 ○矢巾町内主任介護支援専門員意見交換会	21 人
9 月 25 日	・各事業所・関係機関からのお知らせ ・介護保険情報 ・成年後見制度について 講師 成年後見センターもりおか ○矢巾町地域密着型サービス事業所意見交換会	30 人
10 月 17 日	・各事業所・関係機関からのお知らせ ・消費者相談について 講師 消費生活センター ○矢巾町内主任介護支援専門員意見交換会	18 人
11 月 19 日	・各事業所・関係機関からのお知らせ ・矢巾町役場健康長寿課から マイナ保険証の取り扱いについて ・介護保険情報 ・フレイルと栄養について 講師 特別養護老人ホーム志和荘 管理栄養士 遠藤 愛 氏	35 人
12 月 18 日	・各事業所・関係機関からのお知らせ ・介護保険情報 ・多頭飼育対策について 講師 盛岡広域振興局保健福祉部環境部 岩手県県央保健所 上席獣医師 高橋 秀彰 氏	24 人

令和7年 1月22日	・各事業所・関係機関からのお知らせ ・矢巾町役場健康長寿課、福祉課から ・介護保険情報 県、保険者への要望等について ・グループワーク 「身寄りがいない人への対応について」 ○矢巾町内主任介護支援専門員意見交換会	22人 10人
2月26日	・各事業所・関係機関からのお知らせ ・介護保険情報 ・来年度、「矢巾町等ケアマネ事業所・サービス事業所合同連絡会」で 取り上げてほしい内容等について ○矢巾町集団指導	26人
3月19日	・各事業所・関係機関からのお知らせ ・矢巾町地域包括支援センター来年度の事業計画について ・介護保険情報 ○矢巾町内主任介護支援専門員意見交換会	20人

2024年度 職員研修参加状況

開催日	開催研修名	開催場所	参加職員名
6月5日	チームオレンジ研修	岩手医科大学	鱒沢
6月14日	チームオレンジ研修	岩手医科大学	鱒沢
6月24日	盛岡地区地域包括・在宅介護支援センター 協議会・研修会	アイーナ	吉田
6月25、26	岩手県認知症地域支援推進員研修	アイーナ	鱒沢、村松
7月5日	岩手県生活支援体制運営研修	アイーナ	吉田
7月11日、12日	岩手県主任介護支援専門員更新研修	盛岡市勤労福祉会館	堂脇
7月11日	紫波町つながる学習会	オガール	山内
8月1日、2日	岩手県主任介護支援専門員更新研修	盛岡市勤労福祉会館	堂脇
8月7日	認知症本人と家族の一体的支援プログラム 研修	やはばーく	村松
9月1日	岩手県認知症地域支援推進員活動促進研 修会	アイーナ	鱒沢、村松
9月27日	岩手県精神保健福祉基礎研修	エスポワールいわて	堂脇
9月10日	敬愛会接遇・コミュニケーション研修会	志和荘	堂脇
9月15日	矢巾町福祉×まちづくりフォーラム	さわやかハウス	吉田、遠藤、山内
9月15日	町シルリハ指導者フォローアップ研修会	さわやかハウス	鱒沢
9月17日	紫波郡医療・介護連携「日常の療養支援に 関する研修会」	さわやかハウス	吉田
9月18日	地域ケア会議の改善に向けた研修会	北上市生涯学習センター	堂脇

10月1日	岩手県精神保健福祉大会	キャラホール	堂脇
10月5日	令和6年度岩手県認知症キャラバン・メイト養成研修会	アイーナ	鱒沢
10月11日、12日	全国地域包括・在宅介護支援センター協議会研究大会(栃木大会)	栃木県宇都宮市	山内
10月14日	一関市認知症学習会	萩荘市民センター	鱒沢
10月26日	岩手県地域包括支援センターフォーラム	ふれあいランド岩手	吉田
12月4日	紫波郡医療介護多職種連携研修会「かかりつけ医認知症対応力向上研修」	ケアセンター南昌	吉田、遠藤
12月14日	紫波郡医療介護連携ACP研修会	ケアセンター南昌	遠藤
令和7年1月	おれんじボランティアフォローアップ研修	ホテル愛隣館	鱒沢・村松・山内
2月4日	矢巾町第2回「福祉×まちづくりフォーラム」	さわやかハウス	山内、堂脇
2月5日	岩手県災害ケースマネジメント推進研修	アイーナ	堂脇
2月18日	防犯管理者等研修会	紫波警察署	鱒沢
2月23日	日本福祉大学ケアマネジメント研究セミナー	オンライン	山内
2月27日	盛岡地区地域包括・在宅介護支援センター協議会研修会	マリオス	吉田、遠藤、 鱒沢、村松
2月28日	岩手県医療観察制度普及啓発セミナー	岩手医科大学)	堂脇
3月18日	盛岡南部地域リハビリテーション関係職員研修会	オンライン	遠藤